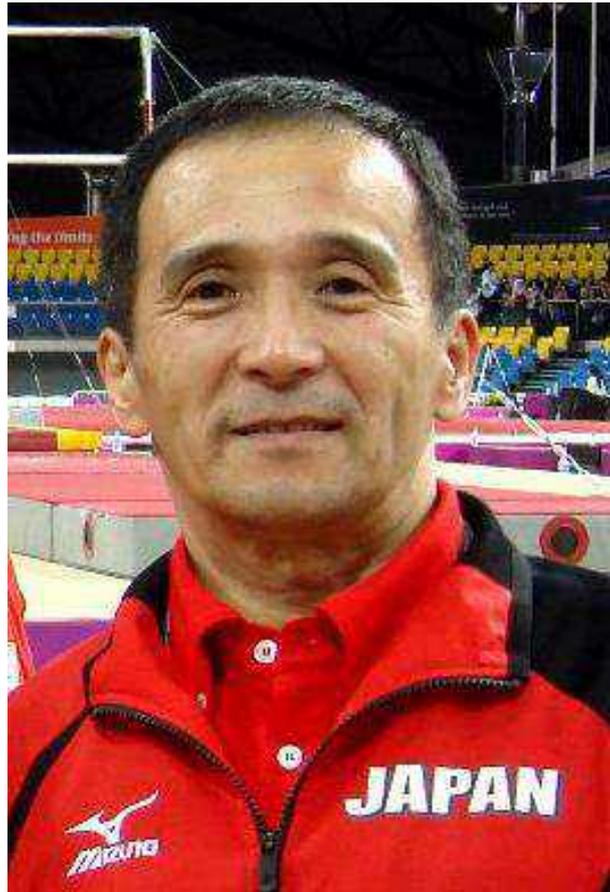


北川淳一 教授

退職記念誌

~ *Retirement memorial magazine* ~



北川 淳一 教授



北川淳一教授の略歴

生年月日	1955年9月25日
学歴	1973年 東京都立駒場高等学校 卒業 1979年 順天堂大学 卒業 (体育学士) 1984年 順天堂大学大学院研究科 修了 (コーチ学修士)
職歴	1984年 国立鹿屋体育大学 教務補佐 1985年 国立鹿屋体育大学 助手 1992年 国立大学法人鹿屋体育大学 助教授 2006年 国立大学法人鹿屋体育大学 教授 2021年 国立大学法人鹿屋体育大学 名誉教授

主な業績

競技歴	1978年 TBS杯国際体操競技選手権大会 (東京) あん馬、平行棒 優勝 1978年 全日本学生体操競技選手権大会 (京都) 個人総合、あん馬、跳馬、平行棒、鉄棒 優勝 1978年 アジア大会代表決定戦 個人総合 優勝 1978年 全日本体操競技選手権大会 (福岡) ナショナル選手永久番号 53 獲得 1978年 中日杯国際体操競技選手権大会 (愛知) 個人総合 優勝 1978年 第8回アジア大会 (バンコク) 跳馬、平行棒、鉄棒 優勝 1979年 全日本体操競技選手権大会 (東京) 跳馬 優勝 1980年 NHK杯兼モスクワオリンピック最終予選会 (福井) オリンピック代表選手に決定 1980年 オリンピック代替国際大会 (アメリカ) 鉄棒 優勝
受賞歴	1981年 日本体操協会 最優秀選手賞 受賞 1982年 千葉県体育協会 スポーツ功労賞 受賞 1982年 順天堂大学 最優秀選手賞 受賞 2015年 西日本学生体操競技連盟 功労賞 受賞 2018年 九州体操競技連盟 功労賞 受賞 2021年 NIFD スポーツクラブ 厚労省 受賞

詳細な経歴は、北川淳一教授の歴史にて記載していますので、そちらをご覧ください。

目 次

縁あって 北川 淳一

序 章 北川 淳一教授の歴史

第 1 章 北川 淳一教授退職に贈る辞

福岡大学 スポーツ系学部 教授	田口 晴康
日本女子体育大学 准教授	佐藤 麻衣子
日本大学体操部女子コーチ	長澤 郁子
筑波大学体育系 准教授	金谷 麻理子
筑波大学 体育系 助教	齋藤 卓
女子外部コーチ	八木 実
女子外部コーチ	八木 久美子
鹿屋体育大学 講師	村田 憲亮
28 期生・体操競技部コーチ	中谷 太希

第 2 章 鹿屋体育大学体操競技部 OB・OG からの寄稿

第 3 章 ご家族のメッセージ（北川 浩子様）

終 章 研究・教育実績

編集後記

縁あって

国立大学法人鹿屋体育大学 教授 北川 淳一

縁あって北川の生を享け、縁あって体操と巡り会い、縁あって多くの師に出会った。出会った人の期待に応えることが恩返しだと思い、それらの縁に対して微力ながら私なりに応えた結果、今日に至ったと思っている。今回、無事に 36 年間で勤め上げられた事は当たり前かもしれないが、私自身にとっては偉業であった。なぜなら、本来は長続きすることが苦手な性格だからである。熱しやすく冷めやすい「あっちで花火が上がればあっちへ行き、こっちで祭りがあればこっちに戻る」といった具合だ。こんな性格で大学教員を 36 年間の長きにわたり勤め上げられた事には理由がある。

- ① 縁あって三師（小野氏、太田氏、松元氏）と巡り会い、それぞれの良い部分を学んだ。
- ② 縁あって最良の妻と子供に恵まれて、自分に足りないものを学んだ。
- ③ 縁あって様々な性格の学生と接することができ、指導の多様化を学んだ。

これら 3 つの大きな縁で、36 年間持ちこたえることが出来たと言えるだろう。但し順風満帆ではなかった。「大学の法人化」、「大震災救済の 2 年間給与カット」、「女子チーム解体の苦渋の決断」等々、いくつかの大波に吞まれそうになった。その中の一つがインカレ男子の成績である。

創部から 13 年間は登り続け、それから 5 年間 7 位だった時には流石に万策が付き、精神的にきつかったことから学生にも迷惑を掛けた時期があった。幸い縁あって、現講師の村田憲亮先生が奉職されたことで男子を任せることが出来て現在の好成績に繋がった。そして最近、初の全日本体操競技選手権大会 4 位の時の立役者である中谷太希君（28 期生）が私の後継者として助教で奉職することが決まった。

縁あって多くの素晴らしい人たちに巡り会い支えられて、何とかここまでやってこられた。紙面からではあるが、心よりのお礼を申し上げますと共に、これからも宜しくお願ひしたいと思う。

序章

北川淳一教授の歴史

職歴

- 1955年 9月25日 東京都大田区で誕生
1960年 3月 私立光明幼稚園卒園
1967年 3月 大田区立女塚小学校卒業
1970年 3月 大田区立蓮沼中学校卒業
1973年 3月 東京都立駒場高等学校卒業
1979年 7月 順天堂大学卒業（体育学士）
1981年 11月 中南米海外協力隊々員（厚生省派遣）2週間
1982年 2月 在外研修員カナダ（文部省体育局体育協会派遣）1年6ヶ月
1984年 3月 順天堂大学大学院研究科修了（コーチ学修士）
1984年 4月 国立鹿屋体育大学 教務補佐
1985年 4月 国立鹿屋体育大学 助手 就任
1990年 11月 在外研究員ドイツ（文部省派遣）10ヶ月
1992年 7月 国立大学法人鹿屋体育大学 助教授 就任
国立大学法人鹿屋体育大学 大学院担当教官 就任
2006年 7月 国立大学法人鹿屋体育大学 教授 就任
2019年 5月 アイランドスポーツクラブキタガワ（ISCK）創設
2021年 3月 国立大学法人鹿屋体育大学 名誉教授 授与
国立大学法人鹿屋体育大学 定年退職

受賞歴

- 1981年 3月 日本体操協会 最優秀選手賞 受賞
(オリンピック代表、アジア大会3種目優勝の功労による)
1982年 7月 千葉県体育協会 スポーツ功労賞 受賞
(オリンピック代表、アジア大会3種目優勝の功労による)
1982年 7月 順天堂大学 最優秀選手賞（第1号） 受賞
(オリンピック代表、アジア大会3種目優勝の功労による)
2015年 5月 西日本学生体操競技連盟 功労賞 受賞
2018年 5月 九州体操競技連盟 功労賞 受賞
2021年 3月 NIFS スポーツクラブ 功労賞 受賞

競技歴

1970年 8月	第1回 全日本中学校体操大会 (東京)	個人総合	2位
		とび箱	優勝
		鉄棒	2位
1974年 10月	国民体育大会 (千葉)	個人総合	4位
1978年 4月	TBS杯国際体操競技選手権大会 (東京)	あん馬	優勝
		平行棒	優勝
1978年 6月	中国上海体操競技選手権大会	団体総合	2位
1978年 8月	全日本学生体操競技選手権大会 (京都)	団体総合	3位
		個人総合	優勝
		ゆか	3位
		あん馬	優勝
		つり輪	2位
		跳馬	優勝
		平行棒	優勝
		鉄棒	優勝
1978年 9月	アジア大会代表決定戦	個人総合	優勝
1978年 10月	国民体育大会 (長野)	個人総合	2位
1978年 11月	全日本体操競技選手権大会 (福岡)	個人総合	11位
		平行棒	3位
		鉄棒	3位
		ナショナル選手永久番号 53 獲得	
1978年 11月	中日杯国際体操競技選手権大会 (愛知)	個人総合	優勝
1978年 12月	第8回アジア大会 (バンコク)	跳馬	優勝
		平行棒	優勝
		鉄棒	優勝
1979年 8月	第10回ユニバーシアード大会 (メキシコ)	団体総合	2位
		個人総合	7位
		平行棒	3位
1979年 11月	全日本体操競技選手権大会 (東京)	個人総合	9位
		跳馬	優勝
		平行棒	3位
		鉄棒	3位
1980年 5月	NHK杯兼モスクワオリンピック最終予選会 (福井)	個人総合	5位
		オリンピック代表選手に決定	
1980年 8月	オリンピック代替国際大会 (アメリカ)	団体総合	2位
	23カ国参加	個人総合	5位
		鉄棒	優勝

1981年2月	ニュージーランドゲームス (オークランド)	団体総合 優勝 個人総合 優勝 ゆか 優勝 あん馬 2位 つり輪 3位 跳馬 優勝 平行棒 優勝 鉄棒 優勝
1981年8月	第11回ユニバーシアード大会 (ルーマニア) 出場	選手団主将
1982年5月	全カナダ選手権大会 (モントリオール)	個人総合 優勝
1983年5月	全カナダ選手権大会 (セントジョンズ)	個人総合 優勝
1983年11月	全日本体操競技選手権大会 (栃木)	個人総合 17位
1984年3月	オリンピック最終予選会 (東京)	個人総合 19位
1995年9月	全日本社会人大会 2部 (栃木)	アキレス腱断裂で2種目出場
1996年9月	全日本社会人大会 2部 (北海道)	年齢別 40歳代個人総合優勝
～	20年間連続出場	個人優勝 16回 2位 3回 3位 1回
2014年9月	全日本社会人大会 2部 (福井)	年齢別 50歳代 個人総合 2位

指導歴 (全日本大会以上で主なもの)

1986年	全日本学生体操競技選手権大会 2部	男子9位 女子7位 (団体戦初出場)
1988年	西日本学生体操競技選手権大会、全日本学生体操競技選手権大会において、日本人初となる (世界で3人目) 床の3回宙返り発表 (渡部弘嗣)	
1991年	全日本学生体操競技選手権大会	女子団体 2部 優勝
1992年	全日本学生体操競技選手権大会 全日本体操競技選手権大会	男子団体 2部 優勝 個人初出場 (中村晃行)
1996～2000年	全日本学生体操競技選手権大会	男子団体 5年連続の1部 7位
2000年	全日本学生体操競技選手権大会 全日本体操競技選手権大会	女子団体 1部 2位 (女子最高位) 女子団体初出場
2002年11月	全日本体操競技選手権大会	跳馬 4位 (山根健蔵)
2003年9月	全日本学生体操競技選手権大会	個人総合 2位 (正見こずえ)
2004年5月	NHK杯体操	個人総合 13位 (正見こずえ)
2004年11月	全日本体操競技選手権大会	跳馬 5位 (廣瀬峰晃)
2005年11月	全日本体操競技選手権大会	跳馬 7位 (呉屋京辰)
2006年8月	全日本学生体操競技選手権大会	つり輪 2位 (小林直希)
2007年10月	全日本体操競技選手権大会	跳馬 4位 (濱崎峻介) 跳馬 5位 (荒木雅之) 跳馬 4位 (大田祐希)
2008年10月	全日本体操競技選手権大会	跳馬 5位 (大田祐希)
2009年11月	全日本体操競技選手権大会	跳馬 優勝 (町田和樹)

2010年3月	ワールドカップ・カタール大会	吊輪2位(町田和樹)
2010年10月	全日本体操競技選手権大会	跳馬5位(河野ナナ)
2012年11月	第5回アジア選手権大会	団体2位(小山仁寛)
2013年6月	全日本体操競技種目別選手権大会	平行棒4位(小山仁寛)
2013年8月	全日本学生体操競技選手権大会	男子団体6位(初)
2013年9月	ワールドカップ・クロアチア大会	平行棒4位(小山仁寛)
2014年8月	全日本学生体操競技選手権大会	個人総合7位(小山仁寛)
2014年11月	全日本体操競技団体選手権大会	男子団体4位
2015年8月	全日本学生体操競技選手権大会	男子団体4位
		あん馬3位(塚本淳貴)
2015年11月	全日本体操競技団体選手権大会	男子団体7位
2016年3月	ワールドカップ・カタール大会	鉄棒 優勝 (前野風哉)
2016年5月	ワールドカップ・ブラジル大会	あん馬3位(前野風哉)
2016年8月	全日本学生体操競技選手権大会	あん馬2位(杉野正堯)
2016年10月	ワールドカップ・ハンガリー大会	鉄棒2位(前野風哉)
2016年11月	全日本体操競技団体選手権大会	男子団体8位
2016年11月	アジア体操競技選手権大会	男子団体3位
		跳馬3位(堀内柊澄)
2017年5月	NHK杯体操	個人総合11位(前野風哉)
		ナショナル選手に登録
2017年6月	全日本体操競技種目別選手権大会	あん馬 優勝 (杉野正堯)
		跳馬3位(長谷川瑞樹)
2017年8月	全日本学生体操競技選手権大会	あん馬2位(杉野正堯)
		跳馬 優勝 (長谷川瑞樹)
		鉄棒2位(前野風哉)
		鉄棒3位(堀内柊澄)
2017年9月	ワールドカップ・ハンガリー大会	ゆか 優勝 (前野風哉)
		あん馬2位(前野風哉)
		鉄棒2位(前野風哉)
2017年9月	ワールドカップ・フランス大会	鉄棒 優勝 (杉野正堯)
2017年9月	ワールドカップ・コトブス大会	ゆか7位(長谷川瑞樹)
2017年11月	全日本体操競技団体選手権大会	男子団体4位
2017年11月	ワールドカップ・トヨタ大会	あん馬 優勝 (杉野正堯)
2017年11月	ワールドカップ・バクー大会	あん馬3位(杉野正堯)
2018年3月	NHK杯体操	個人総合10位(前野風哉)
2018年5月	ワールドカップ・スロベニア大会	鉄棒 優勝 (杉野正堯)
2018年6月	全日本体操競技種目別選手権大会	跳馬2位(長谷川瑞樹)
2018年8月	全日本学生体操競技選手権大会	男子団体3位
		あん馬 優勝 (杉野正堯)
		つり輪4位(前野風哉)

		跳馬 優勝 (長谷川瑞樹)
		鉄棒 3 位 (前野風哉)
2018 年 9 月	福井しあわせ元気国体	4 位 (鹿屋体育大学単独チーム)
2018 年 10 月	全日本個人総合スーパーファイナル	個人総合 4 位 (前野風哉)
2019 年 6 月	全日本体操競技種目別選手権大会	あん馬 優勝 (杉野正堯)
2019 年 8 月	全日本学生体操競技選手権大会	男子団体 5 位
		あん馬 優勝 (金山大和)
2019 年 9 月	FIG 種目別チャレンジカップ・ギマソニス大会	ゆか、あん馬 優勝 (杉野正堯)
2019 年 9 月	ワールドカップ・バクー大会	あん馬 2 位 (杉野正堯)
2020 年 10 月	全日本学生体操競技選手権大会	男子団体 2 位
		ゆか 2 位 (藤巻竣平)
		ゆか 2 位 (上山廉太郎)
		あん馬 2 位 (杉野正堯)
		鉄棒 優勝 (杉野正堯)
2020 年 12 月	全日本体操競技種目別選手権大会	あん馬 優勝 (市口大和)

海外遠征

1.1977.08/06~08/28	第 10 回ユニバーシアード	ブルガリア、ギリシャ	23 日間
2.1977.11/14~11/28	ヨーロッパ強化ツアー	スペイン、フランス、ドイツ	14 日間
3.1978.06/14~06/27	上海国際大会	中国	13 日間
4.1978.12/04~12/24	第 8 回アジア大会	タイ バンコク	20 日間
5.1979.08/10~08/25	第 11 回ユニバーシアード	メキシコ	15 日間
6.1980.08/15~08/27	オリンピック代替試合	アメリカ	12 日間
7.1981.01/20~01/31	ニュージーランドゲームス	オークランド	11 日間
8.1981.08/07~08/20	第 11 回 ユニバーシアード	ブダペスト	14 日間
9.1981.12/02~12/18	中南米指導ツアー	ブラジル、パナマ、ドミニカ	16 日間
10.1982.03/14~1983.11/24	カナダ留学 (在外研究員)	ヨーク大学	605 日間
11.1990.01/08~1991.11/24	西ドイツ留学 (在外研修員)	チュービンゲン大学	305 日間
12.2002.03/15~03/20	上海体操部合宿	中国 上海	6 日間
13.2011.03/15~03/25	ワールドカップ	カタール	8 日間
14.2012.04/29~05/03	台湾体育大学講師		4 日間
16.2013.09/20~10/03	加・米クラブ視察研修		13 日間
17.2016.08/25~09/28	米 クラブ視察研修		35 日間
18.2017.11/19~11/28	ワールドカップ	コットブス (ドイツ)	9 日間
19.2018.06/22~06/27	九州連合 韓国合宿		4 日間
20.2019.03.19~30	第 1 回カナダ遠征(Twisters Games) (カナダ)		12 日間
	総計	20 カ国	1,139 日間

生誕から鹿屋体育大学奉職まで

1955年（昭和30年）9月25日東京都大田区西蒲田で、父・智一（三重県津市出身）と母・眞知子（大阪市船場出身）の次男として生誕。3歳上に兄雅一。幼少期は小児喘息に苦しみ、発作が出るたびに医者と呼ぶという生活であった。

体操との出会いは小学4年生の5月、自宅近くの池上本門寺にオリンピック金メダリストの小野喬氏がスポーツクラブを創設する事を知り、体力をつけて喘息を治すために創設日に入会。半年ほどで発作が出なくなり、以降季節の変わり目に少し発作が出る程度にまで改善した。

中学生から本格的に競技を始め、順調に上手くなっていったが、中学2年生の2月、鉄棒の練習中に落下（逆手車輪からの前方伸身宙返り降りの際に足が鉄棒に接触し、真っ逆さまに頭から落下）し、「第4胸椎圧迫骨折」で2ヶ月入院。幸い後遺症もなく3年生となり、5月の東京都予選に何とか間に合い、「第1回全国中学校体操競技選手権」に出場。個人総合2位、床7位、とび箱優勝、鉄棒2位という思わぬ成績を収めた。

クラブ入会から高校3年生までの10年間は、毎日トランポリンで1時間遊んで2時間体操の本練習をし、終わってからまた1時間トランポリンをするのが日課であったことで、空中感覚と着地の能力が養われたと考えられる。高校は、自宅近くの日本体育大学荏原高校から誘いを断り、訳あって公立高校を受験し、東京都立駒場高等学校に進学。1時間40分の満員電車での通学は結構厳しかったが、今考えると階段の上り下りを全て1段置きで走って通学したことで、足腰が強くなったように思われる。自宅から蒲田駅までの1kmを自転車ダッシュ、その後階段の昇降が①蒲田駅②品川駅③渋谷駅④駒場東大前駅⑤高校前的大通りと5回あり、教室は3年間同じで校舎の5階。これを3年間続けたのだから強くなるわけである。のはずであったが、高校の最高成績は3年生での国体4位のみ。一応3年間ともに高校総体と国体に出場していたのだが規定演技が弱く、成績は振るわなかった。

大学は順天堂大学に一般入試で進み（私の時代は未だ推薦入試制度が確立されていなかった）、入学と同時にカルチャーショック（楽しいスポーツクラブと理不尽で厳しい大学の部生活とのギャップ）で2年目まで殆ど練習が出来なかった。落ち込んでいたところからの粘りと頑張りが実り、1977年（3年次）にインカレ8位、ヨーロッパ強化ツアー参加等で頭角を現し、翌1978年（4年次）にはインカレ個人優勝、中日カップ個人優勝、全日本11位（ナショナルチーム入り永久番号53番獲得）、アジア大会跳馬・平行棒・鉄棒3種目優勝という華やかなデビューを果たした。

翌年1979年のユニバーシアード大会では団体銀メダルと平行棒銅メダルを獲得し、1980年鯖江市で行われた「NHK杯兼オリンピック最終選考会」で個人総合5位になり、オリンピック代表の座を勝ち取った。しかし、ソビエトのアフガニスタン侵攻に対してアメリカ合衆国がオリンピックをボイコットして抗議したことにより、日本も追従することになり、「幻のオリンピック」となった。1981年、2回目のユニバーシアード出場では選手団の主将を務めた。1982年2月から文部省在外研究員として約2年間カナダ・トロントにあるヨーク大学に留学し、社会体育と語学の勉強を行った。留学中にアメリカ西海岸のUSC（University of South California）のドクターコース取得の手続きを終えていたが、鹿屋体育大学教員の話がきたために断り、1984年4月に鹿屋体育大学に奉職した。

鹿屋体育大学での 36 年間

開学と同時に奉職し、オリンピック金メダリストの小野喬教授と共に体操競技専門教官としてスタートした。学生は 1 期生のみであり、講義棟や体育館などの設備も 50% ぐらいしか完成しておらず、さながら工事現場のようだった。入学式は総合体育館で行い、講義棟の教室を教官室として間借りしていたため、全教官がまるで中学校の職員室のように並べられた机で仕事をしていたことが印象的であった。幸い体操競技の設備は専用体育館として完成しており、当時としては日本一と言っても過言でない立派な設備であったが、体操競技部員はわずか男子 1 名であり、1 年間はマンツーマンで練習をした。2 年目から一般入試で男子 1 名、女子 3 名が入学、3 年目に推薦制度が確立されたために男女各 3 名が合格し計 11 名となり、やっと部活動らしくなった。その後、表 1 のように推移して本年度に男子団体 2 位となった。

人数の少なかった時期には、自分の軽自動車に学生を乗せて大阪、東京等日本全国を走っていたエネルギーは若さ故だったと随想する。男子は 1 部 7 位まで一気に駆け上がったものの、その後 5 年連続で 7 位だった時には頭打ちで、精神的にも身体的にもくたびれ果てており、学生にも多くの迷惑を掛けたと反省している。

松元正竹先生が退職されて入れ替わりに村田憲亮先生（清風高校、順天堂大学、セントラルスポーツ、順天堂大学院）が教員として入り、男子を率いてくれたことで復活し、2 部優勝から一気に 3 位まで駆け上った。そして昨年、強豪の日本体育大学を抜いて我が部最高位の準優勝を勝ち取る結果となった。教職員最後の年度にこのような華々しい結果を残せたことは大変に嬉しく、村田先生始め学生達にも、そして家族にも心から感謝をしたい。

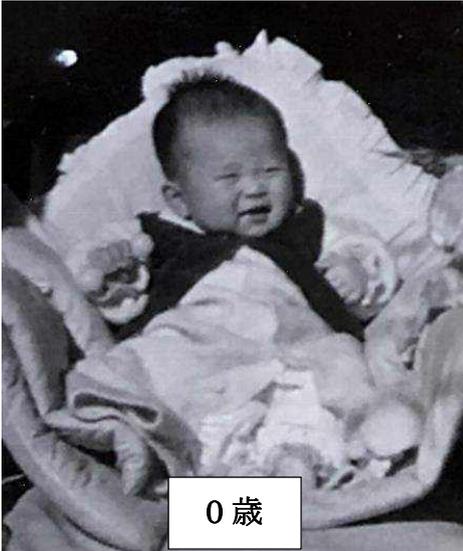
女子学生の指導に関しては、開学から松元先生が奉職するまでの 3 年間と、村田先生が奉職してからの 1 年間だけであった。その間、森尾麻衣子、長澤郁子、金谷麻理子、斎藤卓の各先生方と八木実ご夫妻が粉骨砕身で指導して下さったことで、2000 年（平成 12 年）に全日本学生体操競技選手権大会で団体 2 位を勝ち取っている。

表1 全日本学生体操競技選手権大会団体総合順位の推移と新入部員数

年度	団体成績		新入生		年度	団体成績		新入生	
	男子成績	女子成績	男子	女子		男子成績	女子成績	男子	女子
1984	組めず	組めず	1	0	2003	8位	5位	1	1
1985	組めず	組めず	1	3	2004	7位	6位	2	1
1986	2部9位	2部7位	3	3	2005	7位	8位	2	2
1987	7位	3位	1	1	2006	10位	7位	3	2
1988	4位	2位	2	5	2007	10位	8位	3	3
1989	3位	3位	5	2	2008	11位	7位	4	2
1990	2位	3位	6	3	2009	2部優勝	9位	1	2
1991	2位	2部優勝	3	2	2010	1部12位	6位	3	1
1992	2部優勝	1部8位	3	4	2011	2部優勝	10位	5	0
1993	1部9位	2部優勝	3	4	2012	1部9位	組めず	4	1
1994	11位	1部8位	2	3	2013	6位		5	0
1995	10位	2部優勝	2	3	2014	5位		7	1
1996	7位	1部8位	4	3	2015	4位		8	1
1997	7位	2部優勝	5	3	2016	4位		7	0
1998	7位	1部3位	2	4	2017	3位		6	1
1999	7位	4位	2	3	2018	3位		6	0
2000	7位	2位	5	3	2019	5位		6	2
2001	8位	5位	5	2	2020	2位		5	1
2002	9位	5位	2	3				134	76

あつという間の36年であったが、開学からこれまで係わってこられたことに関して、体操競技部初代部長の小野喬先生に感謝の意を表したい。と共に、これまでに関わりのあった松元正竹先生を始め、森尾麻衣子、長澤郁子、金谷麻理子、斎藤卓の各先生にも心より御礼申し上げたい。そして、これからの鹿屋を率いていく村田憲亮、中谷太希両先生には、是非とも全日本学生体操競技選手権大会・全日本体操競技選手権大会の優勝、オリンピック選手の輩出をお願いすると共に、今までのように卒業してから役立つ精神的な教育（挨拶や一般的な常識、気遣い等）も怠らないようにしていただけると更に嬉しい。

幼 少 期



0 歳



1 歳



北川先生と小鳥 (2 歳)

金メダル選手が発起人に

北川先生 →

笹原先生
小野喬先生

町のスポーツクラブ発足

少年の体力づくり

実相寺住職が会場提供

毎週日曜に三教室

1965年5月23日

小野先生のスポーツクラブ発足の新聞記事



3 歳



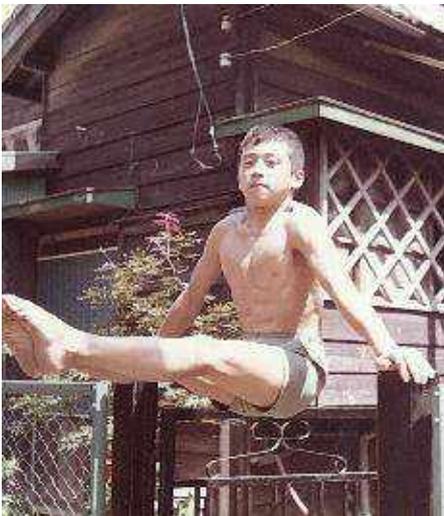
人生初スキー (4 歳)

池上スポーツクラブ時代



まだ、膝・つま先が曲がっている小学生時代。北川先生にもこんな時代がありました。

北川先生、5年生の時の作文。10年後にウルトラCをやる
と宣言。



中学時代。もうすでに体ができあがっています。

第1回全国中学校体操競技選手権（1970年）



跳び箱：優勝

このロイター板と跳び箱で、この高さを生み出している素晴らしい跳躍。1969年の関東大会で初発表し、この大会に臨んだ、その名は「北川跳び」。

（1970年の全日本と世界選手権で、塚原光男選手が発表して「ツカハラ跳び」となった）



鉄棒：2位

お手本のような背面車輪。



床：7位



大学時代（順天堂大学）



大学寮での朝練の様子



大学時代の練習風景。
手首も返り、減点のない
脚前挙十字懸垂

全日本学生体操選手権（インカレ：1978年）個人総合「優勝」



【男子個人総合】		総合	自由	ゆか	あん	つり	跳馬	平行	鉄棒
①北川 淳一(順天大)	111.95	58.65	9.60	9.40	9.48	9.50	9.20	9.50	
②山崎 敏二(日大)	109.95	55.35	8.80	9.00	9.50	9.65	9.00	9.40	
③北川 健吾(中京大)	109.20	54.80	9.05	9.25	9.40	9.75	9.00	9.35	
④田口 (筑波大)	⑤正木 (筑波大)	⑥外村 (日体大)							

自由演技

【男子個人規定】		合計	ゆか	あん	つり	跳馬	平行	鉄棒
①北川 淳一(順天大)	55.30	9.10	9.20	9.20	9.10	9.45	9.25	
②正木 謙(筑波大)	54.65	8.95	9.05	9.10	9.25	9.15	9.15	
③山崎 敏二(日大)	54.60	9.00	9.15	9.00	9.40	9.05	9.00	
④辻 (中京大)	⑤外村 (日体大)	⑥徳本 (東海大)						

規定演技

個人総合以外にも、種目別で、鉄棒・平行棒・跳馬・あん馬で優勝床2位、つり輪3位の成績を収めている。

新聞記事より抜粋
 個人は進境著しい北川淳一（順天大）が、各種目にムラなく高得点を出し、逃げ切りの初優勝を飾った。
 ・モスクワの星、北川
 ○：男子個人総合で優勝した北川は「目標だった。失敗しない体操が出来た」と念願の初タイトルに顔をほころばせた。六月の東日本学生では、ミスを重ねて二位に終わったが、これを薬に、ここ一ヶ月ほどふだんの二倍以上の猛練習を積んで巻き返しをはかったという。日本協会の男子競技本部長でもある太田監督は「申し分のない出来。自分の力を百計出し切った」と賛辞をおくり、近藤天大会会長も「久しぶりにタレントが出た」と二年後のモスクワ五輪へ明るい口調。北川はトランポリンをやっていたせいとか、バランスのいいのが身上で、関係者の評価もこのところうなぎ登り。本人も「これからは限界に挑戦する」と、エースの自覚をハッキリ。



2021年現在、世界のトップ選手が行う「前方2回宙返りひねり下り」を40年以上前に実施している北川先生。

「北川は人一倍の器用さがある。それに空間の感覚が抜群だ」というのは順天堂大の太田昌秀監督。そんな特徴を存分に生かしたのが、世界で初めてのこの前方二回宙返り2分の1ひねり降りである。

背中の方に向けて回転をかける後方宙返りだと、足が回転の推進力になるが、胸の方へ進んでいく前方宙返りは、足のリードがしにくく、へたに足を使うと空中から急降下してしまう。それに着地もむずかしいので、前方宙返りを手がける選手は少ない。

北川はその至難の前方宙返りを二回転連続させ、それが完成した今年一月から、今度はひねりを加えた。

（中略）

「前宙をやる人が少ないだけに、これに挑戦することの楽しみも大きい」という北川。

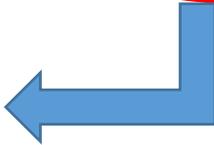
といっても、バーからの離れが甘く、肩や背中をバーにたたきつけたことは何度もある。「この技がすぐこわくなつた時期もあった」そうだが、それを取り切らせたのも、新技に挑む北川の開拓精神といえようか。「世界選手権までは日本の代表なんて僕には遠い話だったけど、これからは違う。

今度の全日本では6位以内を目指します」と北川は言う。次代をになう二十三歳のホープに意欲が見え始めた。

中日カップ (1978年) 優勝 各新聞記事



常に未開発へ挑戦 楽しみなモスクワの星
 やった北川、逆転勝ちだー。
 最終種目の鉄棒。それまでに先行していたヒズニヤコフは、ダイナミックな技に、ダブル宙返り1回ひねりの難技を鮮やかに決め9.65
 この得点にスタンドから「北川の逆転は無理だ」の声があちこちでもれた。
 しかし、北川も負けてはいなかった。演技途中、順手からのフルターン、そして、伝家の宝刀棒越えムーンサルトでのフィニッシュ。北川ならではの新ウルトラCの連続技。
 「この鉄棒越えムーンサルトは、ことしの初めにあみ出したものです。学生選手権で優勝した時もこの技。自信は百分あつたので、ヒズニヤコフにリードされていても、逆転できると確信していた」と喜びを語る。(中略) さらに平行棒でも前方二回宙返り2分の1ひねり降りのウルトラC。「人のやらない技に挑むのが大好き」という北川の攻めの体操が優勝にモノをいった。





体操ニッポンの面目

○：体操の男子個人でやっと日本が金メダル三つを獲得した。新鋭の北川淳一（順天大）が跳馬、平行棒、鉄棒と一人で独占。「メダルを意識するとあせってミスするので、日ごろの実力さえ出せば勝てる」と言い聞かせて演技した」と体操ニッポンの「窮地」を救った北川はニッコリ。視察に訪れた日本選手団本部の塚脇伸作広報担当も「やっと面目が保てた」と北川の手を握りしめて泣きつかんばかりの喜びよう。

前日までの男女団体、個人総合すべて中国にタイトルをさらわれ、顔色なしの体操陣だっただけに北川の奮起は「千金」。跳馬では新笠松跳び、そして最後の鉄棒では背面跳びムーンサルトとウルトラCの大技を見せた北川。バンコクのファンも日本選手の存在を認めた感じ。



アジア大会後、池上スポーツクラブにて (1979年)



カナダ留学時代 (1982年)



カナダの「トロント・スター紙」に掲載。



カナダの「 Chronicle・ヘラルド紙」に掲載
カナダ体操選手権：優勝



幼児指導 (左) と女子コーチ (下) を行う北川先生。





小学生の時に、小野先生の創設された池上スポーツクラブに第1期生として入会し、オリンピック代表までなった北川先生。
その後、小野先生が教授としていらっしゃる鹿屋体育大学へ。お二人の関係にはとても大きな縁を感じます。

鹿屋体育大学での思い出

36年間の思い出は限りないものがありますが、ほんの一部だけ抜粋したものです。
結婚、出産、ゼミ旅行、なわとび教室、松竹杯、納会、試技会、部総会、NIFSスポーツクラブ、自作バネ取り付け、還暦、北川杯等々。





ドーハ W 杯 (2010 年)



アルジャジーラで
テレビ放映され
た。

コトブス W 杯 (2017 年)



全日本選手権 団体初4位

団体総合

1	コナミスポーツクラブ	272,600
2	順天堂大学	268,200
3	日本体育大学	267,950
4	鹿屋体育大学	261,050
5	徳洲会体操クラブ	260,700
6	仙台大学	257,350

会場のスクリーンに映し出された団体総合の結果。



テレビ放映された一場面。初4位を喜ぶ選手達。

鹿屋体育大学

No.	選手名
57	小山 口真
58	金田 浩斗
60	杉野 史克
61	中嶋 洋介
62	塚元 淳貴
63	豊永 啓司

団体メンバー



その年の送別会

全日本シニア大会



2012年 (56歳)



2014年 (58歳)

13期生久米さんと



2015年 (59歳)



59歳にして、ツカハラ跳びを行う北川先生。全国中学生大会でも優勝している伝家の宝刀！

アイランドスポーツクラブキタガワ



北川先生の思いとともに完成していく、夢の施設
アイランドスポーツクラブキタガワ



トランポリン、クライミング、スラックライン、ビッグボールプール、
スライダー 子供にとっても夢の詰まった施設



1 章

北川淳一教授に贈る辞

北川淳一先生との思い出

福岡大学 スポーツ科学部 教授 田口晴康

私が筑波大学1年の時、順天堂大学には、すでにピットがありました。このピット施設は当時日本で初めて太田昌秀先生中心に手作りで作りに上げた施設と記憶しています。私はつり輪のムーンサルトを覚えたくて、このピットを使わせてもらいに順大に練習に行きました。そこに北川選手がいたのが最初の出会いです。

このころの日本の体操は学校体育のクラブ活動が中心で、日本全国の中学校や高校には数多く体操部が存在していました。その中であって北川先生は当時では珍しかったスポーツクラブの出身選手でした。先生は池上スポーツクラブ（東京の蒲田にある小野喬先生が作られた日本で初めてのスポーツクラブ）で体操を始め、知っての通り、オリンピック代表まで登りつめていった選手です。

私も先生とは、選手時代アジア大会をはじめ多くの海外試合と一緒にいく機会もあり、北川選手の演技には、一目置いていたところも数多くありました。当然ライバルでもあり楽しく過ごせた選手時代であったことを覚えています。

当時の体操はルール上「独創性」「決断性」「熟練性」という加点がありました。そこでは、世界で初めて行う技（新技）や難しい演技構成及び組合せには独創性・決断性の加点が付き、雄大な、極めや切れ味のある技捌きには、熟練性の加点が付くなど、人と違った演技や技を目指すのが体操の魅力でもあった時代です。

その中で当時の北川選手は、ゆかのコーナーで止まらない動き回るような演技、平行棒の単棒に胸をつけてローリングする技や、今ではトップの選手が多く行っている前方かかえ込み2回宙返りひねり下り、「キタガワ」と名前がついていたであろう鉄棒のストロマン2回ひねり下りなど独創性で満ち溢れている演技を行う選手という印象でした。また、着地が上手く普通だったら手を着いてしまうような低い宙返りからの実施でも器用に立ってしまうなど「猫のような着地をする人」とも評されていました。

これらの技ができる背景には、今では当たり前になっているトランポリンの存在があります。当時の体操選手あるいは指導者も含めてトランポリンを練習に利用するなどの発想がありませんでした。もちろん、高価なものなので手軽に使える代物でなかったこともあります。このトランポリンが池上スポーツクラブにあって、始めはそれが楽しくてそればかりやっていたと聞いたことがあります。今思うと先生はその後の体操界の最先端を知らない内に行っていたのではないとも言えます。

先生は現役を終わってから、鹿屋体育大学に奉職されたのが開学して学生を受け入れるようになった1984年（昭和59年）だったと思います。いわゆる、鹿屋体育大学の創設期からおられる貴重な存在であるとともに、大学の部活動（体操部）としては、何もない所から1から作り上げていった先生でもあります。部としての基盤ができるまで、特に選手勧誘などは本当に苦労したのではないかと思います。

その2年後に、私も福岡大学に務めることとなりますが、そこからは、お互い指導者として切磋琢磨しながら長きに渡ってご一緒させてもらいました。考えてみると学生時代からここまで40年以上「身近なところで体操に携わっている」こととなりますが、先生と出会えたことをとても誇りに思っています。

先生は今後も自分の原点であろう「トランポリン」を中心とした「体操の楽しさ」を子供たちに伝える指導を続けられると思いますが、益々お元気に活躍される姿を期待しています。

北川淳一教授ご退職に寄せて



前指導者 日本女子体育大学 准教授 佐藤麻衣子

北川淳一先生ご壮健にてご退職をお迎いの由、心よりお慶び申し上げます。

時の流れは早く、鹿屋体育大学を退職後間もなく 30 年が過ぎようとしています。新卒で着任した当初、個性豊かな学生さんの指導に四苦八苦、その折には、奥様とのなれ初めなど、たわいのないお話で心を軽くして頂いたことなど、懐かしく思い出しています。また、男子選手の指導法を垣間見、手取り足取りでなく、“選手を信じる指導”を目指すきっかけを頂きました。これは私の指導者としての原点となっています。

現在は、母校である日本女子体育大学教員として、体操競技部では審判に携わる学生を育成しています。

先生はご退職後も高齢者の指導など、まだまだ現役と聞きました。

大変な世情ではありますがこれからもお元気で過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。

北川淳一教授ご退職に寄せて



前指導者 日本大学体操部女子コーチ 長澤郁子

北川先生に初めてお目にかかったのは、とある全日本社会人体操競技選手権大会のロビーでした。

前任の佐藤（旧姓：森尾）麻衣子先生退職にともなう後任としての依頼に、「森尾先生の後任とは、私には荷が重すぎる。」と迷いに迷っていたときでした。ましてや大学院を修了したばかりの私に大学教員としての採用など、国立大学(当時)ではあり得ないと思っておりました。

さらに目の前には、あの幻のモスクワオリンピック代表選手となった先生。恐れ多いシチュエーションに丁重にお断りしなければと、発する言葉を探しながらお話を伺っておりました。

大学教員のお堅いイメージとは異なり、気さくなお人柄で体操競技部や大学の話を生き生きした目で熱心にお話してくださいました。

大学院修了後、研究生として引き続き母校の体操部の指導を行っていましたが、学校体育の体操部で育ってきた私には補助の技術が全くありませんでした。指導中も補助を必要とされる場面が多かったのですが、なかなか貢献できないという思いがありました。

北川先生の話は、そんな私に「成長をさせていただける機会をいただいた、頑張ってみようかな」と思わせてくださいました。

その後もしばらく悩みましたが、最後の決め台詞「そんなに先のことまで考えすぎずに、とりあえず3年やってみたらどうかな？」という言葉に後押しされ、履歴書提出を決めました。

関東から出たことのない私に、大学や体操部のことはもちろんのこと生活のことまでいろいろと面倒見ていただき本当に感謝しております。

体操競技にかける思いも熱く、部員に対しても高い理想を持ってポジティブに指導されている姿は、本当に勉強になりました。鹿屋を退職した今でも学生への指導に役立たせていただいております。

北川先生の永年の苦労と熱意によって、今の鹿屋体育大学体操部の活躍があるのだと思います。

体操競技にかける熱い思いはまだまだ冷めることはないかと思いますが、健康に気をつけて学生達の活躍を楽しみにしてお過ごしいただきたいと思います。

長い間、本当にお疲れ様でした。

北川先生語録



前指導者 筑波大学体育系 准教授 金谷麻理子

北川先生には、1996年7月～2002年3月の約5年半の間、鹿屋体育大学でお世話になりました。

当時の私は新任中の新任、1日を境に立場が変わった(7/15 大学院生→7/16 助手)という新米にも及ばない未熟な教員でした。しかし、そんな私を北川先生は「金谷先生」と呼んでくださり、同僚として対応してくださいました。

「いつまでも学生気分ではダメだよ。先生らしくしないとね。」と、教員としての自覚を芽生えさせる意図があったのではないかと思います。あれから20年弱の時間がたった今、中身が伴ったかどうかはわかりませんが、少なくともあの時期に「先生」と呼んでくださったことから私のキャリアはスタートしました。

そのような中、北川先生からは多くのことを学ばせていただきました。当時をあらためて振り返ってみると、いくつかのエピソードとお言葉を思い出しましたので、今回はその中でも特に印象的な3つの言葉を紹介したいと思います。

① 「次、お願いね！」

1つ目は、マット運動(後転とび)の授業でした。当時「器械運動」の授業が同じ日に2コマ(教員は2コマ連続、学生は1コマずつで入れ替わる。)という形式の日があったように思います。ある日の1コマ目、北川先生が授業を実施され、私は横でお手伝いをしながら見ていました。内容は、後転とびの段階的な練習方法を学生に説明しながら実践させるというスタイルでしたが、みんなあっという間にできるようになっていきました。身体の大きな体操未経験の学生たちが次々とできていくわけですから、「へー、大人もこんな簡単にできるようになるのか〜」という感じで感心してお見していました。

そして、そうこうしているうちに授業が終了すると、北川先生がすかさず…「金谷先生、次、お願いね！」 一般的に言う「無茶ぶり」というものかと思いますが、「あ、はい。」というしかなく…2コマ目を担当させていただきました。もちろん先生は近くにはいらっしゃいました。しかし、手を出すすぶりは一切ありません。ということで、1コマ目の記憶をたどりながら、その場を何とか乗り越えることに必死だったことを覚えています。そしてこのことを通して、助手という立場が単なる補助的な立場ではなく、いずれ主となって授業を展開する立場であるということに気が付きました。ここでの経験は、のちに本格的に自身で授業を担当するようになったときに役立ったことは言うまでもありません。また今となっては、若手に現場を託すことでどれほど若手が成長するかということも理解できます。

② 「早く立って！」

2つ目は、ロージュを使って学生にトカチェフの練習をさせていたときのことです。

当時の私は学生とほぼ同じ重さでした。ですので、ある意味からだを張って学生たちを補助していたのですが、ある時ロージュの補助に失敗し、私自身が近くのワイヤーにからまって地面に落下しお尻を強打するという事件が起きました。一瞬何が起こったかもわからず、お尻を打った衝撃から少しうずくまっていた。そうすると北川先生がすかさず…「早く立って！」 「だれ？学生？私？」と思いま

したが、そうです、私でした。その時は驚きましたが、その後北川先生が社会人大会に向けて練習をされていたのを見たときに合点がきました。何回か「ガツッ」という音がしても「ヒヤッ」とする状況になっても、先生は平然とすぐに立ち上がってきます。それを見たときに「そういうことか」と思いました。要は「大したことないならおおげさにするな。大人なんだから。」ということだったわけです。ややもすれば学生よりも目立ってしまう私にとって、大変貴重な学びになりました。

③ 「タバスコ、ある？」

そして、3つ目、それは体操競技部の納会か何か、どこかのお店のお座敷でした。焼酎も進み、なぜか得意技の話になりました。そこで北川先生がすかさず「タバスコ、ある？」。料理にでもかけるのかと、でもここはイタリアンではないぞと頭の中で「??？」となりました。しかし、これまたなぜかすんなりタバスコが出てきて、次の瞬間タバスコの上に北川先生が乗っていました。普通の@ペッパーソースの150mlサイズです。手と足の指だけで器用に身体を支え、バランスをとるのです。これには驚きました。私ももちろんチャレンジしましたが、無理でした。ビールの大びん(633ml)が精いっぱい。北川先生の身体能力の高さというか、本格的に現役を退かれて何年もたっているのに、いまだに身体を自由に操ることができるという能力の素晴らしさに脱帽いたしました。

そして、実際に社会人大会で、カサマツとび、ストラウマン宙返り下り、そしてキタガワローレを披露されていたので、「体操を究めること、体を操ることに引退はない。」ということをもって教えてくださいましたのではないかと思います。

以上、3つのエピソードと共に、金言とも言える北川先生語録でした。

最近お目にかかる北川先生は、私が出会った頃と何らお変わりありません。正直、先生の周りだけ時間が止まっているのではないかと思います。そしていつまでも若々しく軽快に宙を舞う北川先生の若さの秘訣がここにあるのではないかと思います。私が先生のようにいつまでも変わらずいられるかどうかはわかりませんが…あの頃学生共々ご指導いただいたことを胸に刻んで、これからも教員生活を歩んでいきたいと思っております。

ご指導ありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。

先生に学ぶ

前指導者 筑波大学 体育系 助教 齋藤卓



北川先生、鹿屋体育大学での30年以上に及ぶ教育研究活動、大変お疲れ様でした。

北川先生とは2002年から2010年までの8年間、ご一緒に仕事をさせていただきました。

大学生に対して授業を行うことは初めてだったので、なかなか勝手がわからなかったのですが、先生の的確な指導内容を参考にすることで徐々に授業をスムーズに行うことができるようになっていきました。器械運動もさることながら、縄跳び運動においては、ここまで運動を噛み砕いて指導できるのかと非常に感服していました。そうした授業の作り方などは今でも私の授業作りのベースとなっています。ありがとうございました。

また、北川先生の指導の良いところは常に楽しくなるように学生目線で内容を考えられることだと思います。おそらく自分が楽しくなければ学生も楽しくないと考えていらっしゃるのか、何をやるにしても自分が一番楽しんでいたように思います。

体操の指導においても興味深かったのは、自分で本当に限界だと思った一步先に限界突破のきっかけがあるとおっしゃったことです。そのため、ギリギリまで追い込む練習計画を毎年行なっていましたが、なかなか辛すぎて学生はこなせきれずにいたので、毎日「結果は出る」となだめながら行かせていました。その結果、しっかりと練習をこなせた年はしっかりと結果が出ていました。それを見習って学生を追い込んだりしてみたのですが、やらせすぎると怪我が出てしまったりするし、一步手前でストップさせるとなかなか限界まで追い込むことはできず、いい加減を見つける事ができませんでした。そこは今でも課題です。しかし、先生が体育館で指導している時は大きな怪我はほとんどありませんでした。それは今考えると学生の状況をよく読んでいたのだと思います。さすがだなと思います。

また、先生は大学の法人化を機会に総合型スポーツクラブNIFS等の新しい企画に着手しております。子供扱いは群を抜いており、NIFSスポーツクラブの立ち上げには先生の力が非常に大きかったと思います。

定年退職され、先生ご自身の今後の人生設計を既に計画されているとお聞きしました。これからも明るく元気な北川先生でいてください。またお会いできる日を楽しみにしております。

この度はご定年おめでとうございました。

お疲れ様でした

女子外部コーチ 八木 実



私が鹿屋体育大学に初めて訪れた時は、一期生の杉山君が3年生か4年生で部員も男女合わせて7～8名位でした。現在は、学生の人数も多く練習場が狭く感じられますが、当時はとても広く感じていたことを覚えています。

もう何十年前か？

北川先生は大学設立当初からの在籍で、体操競技部のみでなく大学本体の現在までの変遷を共に歩んで来られ、退職を迎えるにあたり、途中から在籍された先生方とは大きく異なる思いがあることと推察されます。数年前、中島裡埜がU-12全国大会で北海道を訪れた時、練習会場にて鹿屋体育大学卒の何期生かわかりませんが、なんの面識もありませんでしたが挨拶を受けました。その時に感じたのは、北川先生が長く育ててきた鹿屋体育大学体操競技部の歴史と全国への広がりを強く感じました。

これからも北川先生が長く育ててきた鹿屋体育大学体操競技部関係の人材が体操界は勿論、多種多様な面で国内だけでなく世界への活躍が観られることと推察し期待をしています。

長い間、本当におつかれさまでした。

ありがとうございました

女子外部コーチ 八木 久美子

北川先生 長い間のお勤め お疲れ様でした。そして退職おめでとうございます

私たちが、鹿屋に来た35年位前のことを、少しずつ思い出しながら知らない間に、長い年月が過ぎたことを感じています。今の体育館が出来た内部を見せてもらったこと。初代女子選手、たぶん三期生の、本村さん、坂本さん、橋本さん、次いで今さんの個性豊かな4人の指導が楽しく出来た事。また九州インカレ出発の際、北川先生の車のカーテンをご自分で縫われたことを知り、器用な方だと感心したこと。男子の渡部君が、当時初めてゆかで三回宙返りをするとのことで、大丈夫か・・・ドキドキしながら応援し見事成功！で感激したこと。いろんな人がやらない技に挑戦した事は今でも心に残っています。今も元気でいてほしいです。

その後 辰巳さん、磯野さん、西崎さん、藤田さん、そして団体を組む為、跳馬出場のみで吉田さんに、頑張ってもらったこと、思い出です。各選手の能力を引き出せたかどうかは？ですが自分の選手時代の情熱と、緊張感で熱くなれたこと、そして、NIFSの子供達が、学生さんの助けの中、本当に少しずつ技が出来るようになる事の楽しみ、また中島についてはいつも頑張っている声かけと、練習については特別のご配慮有り難うございました。コロナ禍や、高校生活の変化で少し停滞気味ですが様子を見ながらあと少し指導できればと思っています。また、鹿屋体育大学の雰囲気の中、学生さんの頑張りに、エネルギーをもらい、70歳を過ぎた今でも、好きな体操に携われることが出来る事に感謝でいっぱいです。本当に有り難うございました。



感謝

鹿屋体育大学 講師 村田 憲亮

まずは 36 年間お勤めお疲れ様でした。そして有難う御座いました。

私は 2011 年 9 月に鹿屋体育大学へ赴任しました。私を採用してくださり 11 年間ご指導くださいました。やりがいのある素晴らしい仕事と出会えたのは北川先生のおかげです。何もわからないまま、何もできないまま教員になってしまった私は、相当北川先生の手を焼いてしまったと自負しております。何でも教えるというより“見て学びなさい”“自分で考えなさい”というスタイルの先生でしたので初めは何をすればいいのか悩みましたが、この方針が私を成長させてくれたと感謝しております。

当たり前のことですが二人の指導方法や価値観においても違いがあり、意見が合わないことも当然ありました。北川先生を困らせたと思います。それでもいつも最後は寛容に受け入れてくれましたし、「あなたのやり方でいい。」と認めてくれました。この寛容さを私も身につけ、学生へ還元していくことが北川先生への恩返しにもなると考えています。

北川先生の人柄は明るくて気さくです。私が指導に熱くなりすぎて、体育館が重苦しい雰囲気になる時もありますが、北川先生の一言で、私も学生も何度も救われました。また北川先生は、さっぱりしていて学生が問題を起こしても、その時しっかり叱責しますが後に引きずりませんし、次の日には、いつも通りの対応で、何もなかったかのように接しておられました。こういった人柄が好きでした。

私が頑固で納得できないことは北川先生にも意見することも多々ありましたが、そんな私に対しても、その当手を振り返って「分かりやすく、何をすればいいか考えやすかった。」「あなたと息が合った。」と言ってくださりました。

11 年を振り返って、なんの制限もなく自由にやりたい指導をさせていただき、新しいことにもチャレンジさせていただきました。

時には大失敗して痛い目を見ることもありましたが、その時も「いい勉強になったね。」と一言で、私自身も、大失敗もいい経験のひとつとして前向きに捉えることができました。大学をはじめ沢山の指導者の方々に出会い、様々な考え方に触れてきましたが、その中でも北川先生は特別だと感じます。そんな先生が上司であり、私は幸せな 11 年を過ごすことができました。

大学や高校など教育機関に所属する監督、コーチは少数で指導にあたっていることがほとんどなので、指導者同士の仲（信頼関係）が非常に重要だと感じるようになりました。折り合いがうまくいかず不幸せな職場環境に身を置いている方もおられますが、それでは学生に良い指導は絶対にできません。私は上司に恵まれ、気持ちよく仕事ができる環境がありました。

この環境に感謝し、学生が自身の力を最大に発揮でき、心身両面で成長していくサポートをしていくことが私の責務だと認識しております。

そしてその先に鹿屋体育大学を旅立った卒業生が物心両面の豊かな人生を手に入れる姿をイメージして、仲間を大切に、家族を大切に、自分を大切に、時間を大切にできる人になる指導を心がけていきたいと思います。

これからは、第 2 の人生、第 3 の人生を謳歌してください。

どうも有難う御座いました。



北川先生と出会って10年

28期生・体操競技部コーチ 中谷 太希

北川先生、ご退職おめでとうございます。私が北川先生と出会って10年が経とうとしています。大学4年間、大学院2年間、鹿屋養護学校で外部コーチとして2年間、鹿屋体育大学非常勤講師でコーチとして2年間。この10年間で学んだことはたくさんあり、特に印象に残っている言葉は、「競技を引退してからの方が人生は長い。だから、競技をがんばることは当たり前で、社会人になって役に立つこと(挨拶や報連相、仕事)をきちっとやるのが大切」、「〈実るほど頭を垂れる稲穂かな〉のことわざのように、良い成績が出た時こそ謙虚な姿勢を大切にするように」、「早めの行動と一手間かけて良い仕事をしよう」など。どの教えも分かりやすく、学生の頃から現在まで心に刻みながら過ごしてきました。

私は北川先生の後任として、4月から着任する予定です。私を選んで頂けたことをとても感謝しています。鹿屋体育大学体操競技部OBとして初めて着任することになります。北川先生が開学当初から現在まで36年間指導してきた歴史を引き継ぎ、競技だけでなく、人間教育にも力を入れて指導していきたいと思います。退職後も体育館に顔を出して頂けるとのことなので、まだまだご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



2014年夏 同期の引退試技会



2014年夏 インカレ団体6位



2014年秋 全日本団体選手権
初出場で4位通過、決勝4位



2020年秋 インカレ団体総合2位
創部最高成績

2章

OB・OGからの寄稿

～思い出の写真や現在の写真とともに～

2期生 宮下良子さんより思い出の写真



1985年 九州総体（佐賀県唐津）



荒平でのトレーニング&バーベキュー

小野先生との会食の席



ありがとうございます



4期生 今 美子

北川先生は、私が学生の時には、まだアラサーの世代、バリバリ現役で動ける感じで、いつも、身をもって指導してくださいました。

モスクワオリンピックボイコットの幻の代表選手だった北川先生は、その悔しさは勿論あろうでしょうに、それよりも、先生からは、ご自分が本当に体操が大好きだ！というのが、いつも溢れていて…

暇があれば、いつも動いていて、学生も、うかうかしてられない！と、掻き立てられたものでした。

また、いつも感謝の気持ちを口になさる方だなあ、と今も昔も思い出します。

ちょっとした小さな事も見逃さずに、何のたびに、ありがとう！と、言って下さるんです。

いつも、ニコニコ、軽やかに、ありがとうの言葉を忘れない北川先生。

今、当たり前が当たり前じゃないこの時代、まさに、感謝の言葉を口に出来る事が一番大切だ！と言われています。

私も、先生から、今ちゃんありがとう、と言って頂いた事が何度もありまして。。

何に対してのありがとうだったのかは、恥ずかしい位の小さな事でしたが、どんな事に対しても、先生がありがとう、と返して下さったのが、すごく忘れられず、嬉しいのです！

今、私から改めて、先生ありがとうございます！です。

周りにも、ありがとう！と、ひとつでも沢山言える人間になるように心がけなきゃ！

先生は、一生現役でずーっと体操人なのでしょうね。これまた、今の時代、身体作りを継続するのは、とても重要な事です。

私も、こちらも、見習わなければ！

(私は、52歳になって、恥ずかしながら足腰がガタガタで。。。)

素晴らしい先生達にご縁を頂けたのが、鹿屋体育大に行って良かったと思える誇りです。

北川先生、本当にありがとうございます！

そして、さらなるご活躍をお祈りしております！！

「ありがとうございました」

5期生 安楽 照夫



北川先生、長い間ありがとうございました。

今まで講義や部活動（体操競技）だけではなく、様々な場面で人間的に大きく成長できるよう激励のお言葉を掛けていただき感謝しております。私の学生時代には想像もできなかった後輩たちの目覚ましい活躍は、先輩として誇らしい限りです。そこに至るまでの長きにわたるご指導があってからこそその素晴らしい結果であると実感しております。本当に 36 年間お疲れ様でした。

鹿屋体育大学体操競技部の歴史とともに歩んで来られた北川先生が退職されることは卒業生の一人として非常に寂しさを感じます。1期生の杉山さんから現在在学する学生まですべての体操競技部員の指導に携わり、我々の成長を見守ってきた生き字引的存在である先生の退職は、体操競技部にとっても 36 年間の伝統において大きな節目になると思います。後を引き継ぐ者が、先生が築いてこられた伝統（教え）の中から何かを感じ取り、これまでの伝統を大切にしながらも、新しいものを生みだそうと前進して行くことを期待しています。

先生の教えは我々卒業生にとって非常に大きな財産になっています。教師になって 27 年目になりますが、様々な場面で先生の教えを思い出します。先生は「楽は苦の種、苦は楽の種」とよく話をされていました。毎日の生活の中で本当の楽しさを味わい求める結果を得るためには、苦しさを自ら買って出るくらいの努力をしなければいけないと感じることがよくあります。なかなか実践できませんが…！また、部誌「阿吽」で『先見の明』についてお話があり、「先を見抜いた練習の大切さ」を伝えています。現在の部活動（バドミントン部）の指導において、漠然とした目標に向かって「勝てたらいいなあ～」と思って練習に臨んでいる生徒を見ると、「目標をしっかりと定め、達成するためには具体的にどのような力を身につけなければいけないのかを考え、練習内容を熟考し、継続することが大切です。」と先生からの教えをあたかも自分がそうしてきたかのように話をしている時があります。

先生から受けた影響は大きなものがありました。大学は退職されますが、これからも私たち鹿屋体育大学体操競技部卒業生のご指導をよろしく願いいたします。

今後の北川先生のさらなるご活躍をお祈りいたします。

新たな出発を祝して退職「おめでとうございます」

おめでとうございます

5期生 安藤 貴久

北川先生、長い間大変お疲れ様でした。

北川先生と言えば、なんといっても「宝くじ号」での遠征を思い出します。

北川先生が運転手で、私達は薄い白いマットを敷いてその上に座って移動。

景色を見たりお菓子を食べたり。そして、アップの1つとして(?) ピンクレディになりきり歌ったり、踊ったり。その当時1年生でピチピチの5期生は思いっきりはしゃいでいました。その様子を苦笑いのような笑顔で見守ってくれました。今の時代では考えられないようなことをやっていたね。その後卒業してから、2度ほど全日本インカレの帯同審判をさせていただきましたが、その時もいつもの笑顔で迎えていただき、安心して審判することができて、とても嬉しく思いました。

あれから四半世紀が過ぎ、あの頃小さかったお子様方が大きくなられ、企業も立ち上げて、頼もしくなられてとても羨ましく思います。

これからの人生、またさらに大きく羽ばたいてください。東北の地より応援しています。

この度は退職おめでとうございます。



宝くじ号での一場面

ありがとうございます

5期生 古村 美由紀

まずは、長い間お疲れ様でした。

先生と初めてお会いして、30年以上が経つとは…。北川先生その頃から一貫して学生の自主性を尊重して、若干距離を置いてお付き合いくださっていたように思っています。入学当初は、男子の先輩方が実に伸び伸びと自分のやりたい体操を楽しんでいたイメージがあります。そして今は、大会報告などで感じる限りではありますが、現役学生はもちろん、村田先生も思いっきり自分の体操を楽しんでいるように見えます。北川先生流の人の育て方ではないでしょうか。

本来であれば鹿屋に集い、盛大に退職をお祝いしたいのですが、新型コロナウイルスの感染拡大で実現しませんでした。先生自身が幻のモスクワオリンピックであったように、今回も東京オリンピックが延期という。なんだか運命的な感じもしました。1日も早く世の中が落ち着き、北川先生の新たな生活がより充実した素敵な毎日になりますように、お祈りしています。

北川淳一先生、ご退職おめでとうございます

5期生 吉田 幸人

鹿屋体育大学開学以来、体操競技部とともに歩んでこられた、長い長い 36 年間、それよりも長い長い体操との歩み。本当にお疲れさまでした。

大学の歴史をそして、体操競技部の歴史をすべて見守ってこられた、「生き字引」、誠に敬服いたします。

本当に、お疲れさまでした。

私が、北川先生に初めて声を掛けて頂いたのは、高校 3 年の鹿児島県国体予選でした。先生も、成年の部で出場されていて、ゆかの構成には、とても新鮮味があり驚きました。自分の演技は、忘れましたが、試合終了後のロッカールームで、

「どうだった？」

「失敗ばかりで…」

「失敗したのはしょうがない、その失敗が次に生きるように」と、おっしゃってくださいました。それまでの人生の中で、そんな前向きな言葉を言われたことがなかった私は、今でも、その時のインパクトは忘れません。

失敗を次に活かす、今でもなかなかできることではありません。

しかし、このメッセージを書きながら、北川先生の事、大学での出来事など、色々思い返しながら、もう 1 回、頑張ってみるか！そんな気持ちを抱いております。

北川先生に置かれましては、これからまた新たな旅立ちがスタートするかと思います。

「人生百年時代」と言われています。

私も 51 歳、そろそろ、今後の事を考える年になりました。

いつまでも、我が人生の師として仰ぎ見れたら、そんな思いを抱いております。

どうか、御身体には十分気をつけて、今後も、益々のご健闘をお祈り申し上げます。

また、いつかどこかでお会いできること、楽しみにしております。



北川先生の退職に寄せて

6期生 江端 敦

今もまだあるのでしょうか。体育館の北側窓際に置かれた数冊のノート。タンマと手垢に塗れたノート。青年北川淳一が現役時代に綴った体操日誌である。彼の挑戦をずっと見つめ続けてきたノート。手垢に塗れているのは彼のみならず多くの学生がそのノートを手にとってきた証拠。そこには彼の苦悩、喜び、葛藤他全てがあった。インターハイの予選通過カットラインをはるか上に見上げていた私にとって、一流の体操選手になるためにはこんなに追い込み追い込まなければならないのかと驚きを受けたものである。体操に向き合う姿勢を改めさせるには十分な刺激でした。そのノートを読んだのは入学してしばらく経った6月半ば過ぎで少々遅かったのですが・・・

1980年（モスクワオリンピックの年）某日、北川先生は後輩の神田真司先生と共に札幌にいた。

札幌大学と順天堂大学が合同合宿をしていた縁で、当時札幌大学のコーチをしていた私の中学校時代までの恩師である岡地功先生が傷心の北川先生を癒すために札幌ジュニア体操クラブの特別講師として招待し、もてなしたのだそうです。北川先生はその時の恩と縁を今でも大切にしているようで、折に触れて感謝の念を伝えてられていると岡地先生から聞いたことがあります。そんな義理堅いところも北川先生的一面であると思います。縁は異なるもので私の同期の青柳がその時一緒にいた神田先生の教え子だったりします。そして北川先生も神田先生も日の丸を背負う選手を多く輩出していますね。

先ほどのノートの話に戻りますが、そこには一つ賛成しかねることが書いてありました。

ある一人の選手に勝つために様々な試行錯誤を重ねていた。その選手はロサンゼルスオリンピック個人総合金メダリスト具志堅幸司選手である。北川先生は具志堅選手のことを天才と称していた。しかし私（我々？）からすると天才は北川先生の方なのではないかと。

当時の体操器具には早すぎた技々。その代償に上腕二頭筋を持って行かれています。C難度までしかない当時のルールからはみ出た技を北川先生はやっていたのだと思います。現役を引退してかなり経った30代半ばの北川先生がトランポリンで3回宙返り3回ひねりを特等席で見たときは度肝を抜かれたものです。

北川先生今までお疲れ様でした。これからは大好きな家族と共に過ごす時間を大切にしてください。

「ありがとうございます」

6期生 中濱 貴夫



北川淳一先生，鹿屋体育大学体操競技部でお世話になったOBの一人として申し上げさせていただきます。

長きにわたる鹿屋体育大学でのご指導ありがとうございました。

北川先生の退職にあたり，先生との思い出を綴らせていただきます。

今から32年前，私は創立間もない鹿屋体育大学に第6期生として入学しました。体操競技部に入部したのは，男子は，私の他に青柳，江端，中川，中村の5人，女子は，村田（旧姓），茂木（旧姓）の2名の計7名でした。うち一般入試組が4名であり全国規模の大会で活躍する選手は

誰一人といませんでした。しかし，当時コーチの立場であった北川先生は，まだ競技者として肉体的にも精神的にも未熟であった我々（私だけかも？）に根気強く叱咤激励し指導してくださいました。そのおかげもあり，少しずつではありますが，競技者としての考え方，競技への向き合い方を身につけることができました。

大学4年生で迎えた広島での全日本インカレでは，悲願であった2部優勝1部昇格をチームリーダーとして支えてくださいました。帰りの大分までのフェリーの中で一緒に祝杯を挙げさせていただいたことも良い思い出になっています。今や全国で屈指のチームになり活躍を続ける体操競技部の存在は我々OBの自慢でもあります。

我々体操競技部員を北川先生のご自宅にご招待してくださったこともありました。奥様の手料理をごちそうになり元気をいただきました。日本代表として中日カップに出場したときのビデオなども見せていただきました。娘さんのゆうこちゃんがまだ幼く，ドラえものの歌を聴かせてくれたことも覚えています。

松元先生，北川先生，森尾（旧姓）先生のご指導の下，ともに鹿屋体育大学体操競技部の黎明期を過ごせた時間は，我々にとってかけがえのないものになっております。

卒業して28年になりますが，同期や当時一緒に体操練習場で汗を流した先輩たちや後輩たちと会えば，当時の思い出に花が咲きます。

そのような，環境やご縁を作ってくださった先生には大変感謝しております。ありがとうございます。

最後になりますが，今後も地域の健康寿命を支える活動にご尽力されるとの事を聞いております。益々のご活躍と「アイランドスポーツキタガワ」のご発展を楽しみにしております。

北川先生のご退職に寄せて

6期生 中村 晃行

北川先生、定年を迎えられてのご退職、誠にめでたうございます。鹿屋体育大学開学と同時にたった一人の部員からスタートした体操競技部を全国2位の強豪にまで育て上げられたこと、きっと北川先生のご尽力なしには成し得なかったことだと思います。36年間の長きにわたる学生たちへのご指導本当にお疲れ様でした。

先生の現役時代の映像をいろいろと見せていただいたことがあります。その時の感想は、凄い！の一言でした。特に先生のライフワークにもなっている「着地の技術」の素晴らしさには驚かされました。鉄棒のストラウマン宙返り2回ひねり、猫を連想させるような空中感覚でヒラヒラッとひねったかと思うと、床に足がつくと同時に手を斜め前方でピタッと静止させる。おそらく内村航平選手をも凌駕する技術でした。その極意は「着地はね「止まる」じゃダメ、「止める」だよ。ちょっとくらい動いても止まったように見せなきゃダメだよ。」だと教わりました。

学生時代、北川先生はまだ30代半ば、軽練習の日にトランポリンの八百屋やミントラの着地決めなどで先生と勝負をしたこともありました。先生はそこでも天才的な空中感覚と着地技術に加えて「天性の負けず嫌い」を発揮され、いつも学生を抑えて上位に食い込まれていました。

そして、天才的といえば、技の指導法もある意味「天才的」だったかもしれません。

学生が習得に苦勞している技があると、ふらっと現れた先生が技のコツを伝授してくれました。そのコツが「パンパンッと裏返る感じ」とか「手が入った時にお尻をキュッと締める感じ」など、かなり感覚的なことだったりするのですが、それを意識して実践してみるとまるで魔法のように技が安定したという経験があります。(ちなみにこのコツは平行棒のバックツイストのものでした。)この感覚的な指導法は、私にとっては非常にわかりやすく、実践しやすいものでした。

先生にご指導いただいた学生時代を思い返すと、とても懐かしく感じると同時に、自身が先生の教えるを聞かないダメ学生であったことを思い出してしまい、恥ずかしさすら感じてしまいます。

30年も前のことですので羞恥心を捨てて書かせていただきますが、私は入学当初、下手くそでわがままでお調子者の選手でした。練習はその日の調子任せ、好きな種目は練習するが嫌いな種目は適当に流す、補強はしんどいからサボる、失敗しても怪我や器具のせいにして反省しないなどなど、よく先輩方からも注意されていました。そんな私に対しても北川先生は「中村はセンスがあるんだから、それをもっと磨けば苦手種目も何とかなるよ。」と常に褒めながらしつこく温かくご指導いただきました。そんな先生の言葉に対しても、初めの頃はやや懐疑的に受け取っていましたが、2年も続けられると不思議とその気になってくるもので、「できるかも?」「できるはず!」「やってやる!」と考え方が変わり始め、それが自身の体操に対する取り組み方の変化につながったように思います。このことは現在でも「私ならできる!」「やれるはず!」という気持ちで仕事に取り組むという形で活かされています。人よりも少し長い6年間の学生生活において、たくさんのご指導を頂戴したこと本当にありがとうございました。

退職後は、家業でもあるアイランドスポーツキタガワの運営に携わられるとのこと、きっとこれまでと変わらず精力的に活動されることと思います。今後の北川先生とご家族の皆様のご健康とご活躍、スポーツクラブのますますのご発展をお祈りいたします。



1992年
与論島ゼミ旅行

1993年
東四国国体



ありがとうございました

7期生 中村 賢

この度は、ご退職おめでとうございました。卒業後、体操競技部の目覚ましい活躍を知る度に、驚きとともに、先生のご業績に対して敬服の念を抱かずにはいられませんでした。昨年、NHK・BSの番組を拝見させていただきました。「着地」について熱く語られているご様子、当時のお姿が私の中に蘇りました。体操競技に対する一貫した愛・情熱・指導力を長く、長くご継続されてこられたこと、私もそのような人生の一本軸をつくりたい、そう思いました。松下幼稚園での体育指導の機会を与えてくださったことも、先生からいただいた大きな宝物となっています。体操競技部及び松下幼稚園での学びは今の私に、しっかりと生きておられます。

「子どもと体操」、これを軸にしてこの先も歩んで参りたいと思います。

北川先生、本当にありがとうございました。心より、感謝を申し上げます。

北川淳一先生

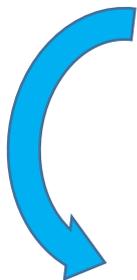
★ありがとうございました★



1990～1993



2019



「ヤーン」と呼ばれた男

7期生 渡辺 裕人

北川先生 鹿屋創設期から日本屈指の体操競技部育成に至るまで、学生の競技力向上、人間教育、組織改革等々、多岐にわたるお仕事を無事勤めあげられましたことをお祝い申し上げます。ご在任中のご指導に感謝申し上げますとともに、今後のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

さて、北川先生と私の「縁」について、少々皆さんへご紹介させていただきます。北川先生の現役時代と言え、言わずと知れたスーパーヒーローである。しかし、時代の波に翻弄され、政治にも大きな影響を受けたことも、また事実。先生ご自身がこの記事の中で振り返っておられる。

(<https://www.nishinippon.co.jp/nsp/item/n/594079/>)

私が体操小僧としてよだれを垂らしていた頃、ジュニアの先生の家「凄い選手が遊びに来ているよ」と聞いたことがあった。何でもその方は、「全日本チャンピオンで、幻のオリンピック日本代表で…」と数々のエピソードを伺った。小僧の目は輝き、胸を躍らせて考えた。「サインが欲しい！」とっさに買って貰ったばかりの新品のスキーウェアの背中一面にサインをお願いしたのだった。

「本当にいいの？」そう優しく何度も問いかけてくれた北川選手。その年のスキー場で「誰のサイン？」と色んな人に何度も何度も聞かれた…答えるのが大変だった。そこから、ウェアの背中にサインを貰ってはいけないということ学んだ。これが、北川先生から一番最初にご教示いただいたことだった。

鹿屋へ行くと先輩に「ヤーン」という先生がいることを教えていただいた。「誰？ヤーン？」中には「北ヤン」と呼んでおられる方もいましたよね？中村さん！

ヤーンと呼ばれるようになったエピソードは諸説あったようだが、鹿屋体育大学体操競技部の創設期の父「ヤーン」が確かに存在したのだ。もちろん、北川先生は知らないことになっている。

丁度、私たちが入学したとき、北川先生はドイツへ行っておられた。ビデオメッセージで入学生に向けてお話をしてくださった中で、やはり「ヤーン」の話があり爆笑したのを覚えている。私たちが先生にご挨拶できたのは、2年になってからだった。北川先生へ「スキーウェアにサインを貰った小学生です。」とお伝えしたところ、「おおお～！覚えてるよ～！君か～！」とおっしゃっていただき、大変感激しました。

学生時代に北川先生にもっと色々な話を伺ってみたかったという後悔とあの時はやはり聞けなかったな、という二つの思いがある。それは、どうしてあの時、北海道へいらしていたのか？ということだった。

先生に伺う事ができたのは、私が大学を卒業してしばらく経ってからのことだった。秋田で開催された全日本インカレに帯同審判として行った時のこと、学生時代に出来なかった質問をさせていただいた。当時、オリンピックボイコットのショックを癒やすため、北川先生が順天堂大学の同窓という縁で、声をかけた私の恩師を頼って北海道へいらしていたこと。その義理を今も感謝していると病気で他界した我が恩師との繋がりを感慨深くお聞かせくださった。師弟の関係は、様々な「縁」となって巡ってくるもの。

冒頭のネットニュースで語られたエピソードの背景に少しだけ関わった私の縁を紹介させていただいた。

先生におかれましては、ますます“キタガワロール”に磨きをかけられますことを祈念して、ご勇退に送る餞の言葉とさせていただきます。

五輪の道断たれ 40 年「今も引きずって」 消えた 6 連続金メダルの夢

2020/3/23 6:00

西日本スポーツ 向吉 三郎



鹿屋体大の体操部部長も務める北川教授。モスクワ五輪への不参加を「今も引きずっている」という

東西冷戦下で起きた 1979 年のソ連(当時)のアフガニスタン侵攻に抗議し、米国や日本などの西側諸国は翌 80 年のモスクワ五輪をボイコットした。40 年の時を経て、今度は東京五輪が世界的な議論の対象となっている。新型コロナウイルスが世界的な感染拡大を続ける中、予定通り開催か、延期か、それとも中止か。80 年に夢の舞台に立つことができなかった「幻の代表」たちが当時を振り返った。



モスクワ五輪団体総合で 6 大会連続の金メダルを目指していた体操日本男子の夢は、不参加という形でついでた。当時順大の学生だった鹿屋体育大教授の北川淳一氏はモスクワ大会で初めて五輪代表に選ばれた。

1980 年 5 月 5 日。千葉県習志野市にあった順大に代表メンバーが集まった。6 連覇を目指す合宿のスタートだった。ところが、その 2 日後。突然、合宿は解散となった。「(五輪参加に向けた)雲行きが怪しくなったから」。同月 24 日。日本オリンピック委員会 (JOC) の総会で正式に不参加が決まった。団体総合を再び日本が制したのは、そこから 24 年後のアテネ五輪だった。

84 年ロサンゼルス五輪を逃して引退した北川氏は「なんだったんだろうね。あれは。五輪の年になると、もし出ていけばって思い出す。今でも少し引きずっている感じ」とため息をつく。

東京五輪開幕を前にした今、選手たちは目に見えないウイルスとの闘いを強いられている。「練習も満足にできないかもしれないけれど、やれることをしっかりやって待つしかない」と不安な気持ちの選手たちに寄り添った。

「ありがとうございました」

9期生 柴本 香

北川先生、長い間本当にお疲れ様でした。男子もついに、全日本インカレ団体2位という偉業を成し遂げ、先生が退職される前に本当に良かったですね。卒業生としても本当に嬉しいです。この成果も北川先生の熱心なご指導もあってのことかと思います。ありがとうございました。

私が学生の頃、男子は試技会や試合会場練習で、ノーアップ1本通しとかをやっていたのを覚えています。私はアップしたいので、正直自分が女子選手で良かったと思っていました。(笑)北川先生から、直接、技の指導を頂いたことは少なかったのですが、授業やゼミではたくさんのお話を頂き、勉強になりました。

先生が、「日本の選手は海外の選手に比べて、手足が短いから、見栄えを良くするために、靴下の先に詰め物をしてつま先を長く見せていた」というお話を聞いたときに「凄い!」と思いました。イメージトレーニングは、自分が実際にやっている映像と、観客となって自分を見ている映像の2パターンをやる。と仰っていたのも覚えています。やはり、頂点を極める人は体操に対する姿勢や考え方が違うなと思っていました。接する機会は多くはありませんでしたが、先生のお話は、凄く印象に残っています。

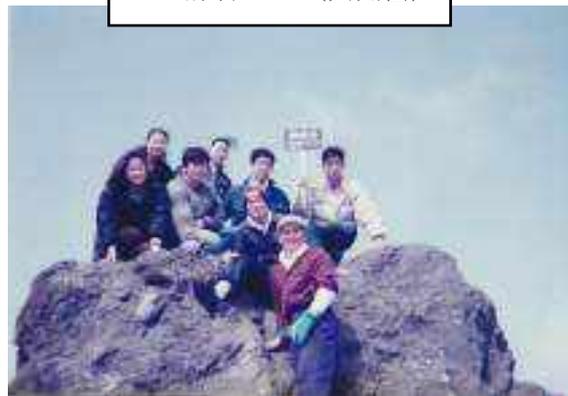
鹿屋体育大学は、凄く田舎の、創立もまだ浅い無名の大学だったのに、どんどんいい学生が入ってきて、メキメキと力をつけていくことが出来たのは、松元先生・北川先生をはじめ、歴代コーチをして頂いた先生方のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

北川先生はご退職されますが、これからも、鹿屋体育大学体操競技部をあたたく見守り続けて頂けたらと思います。

よろしくお願いします。

本当に長い間、お疲れ様でした。ありがとうございました。

ゼミ旅行にて（開聞岳）



ありがとうございました

12期生 石本 春奈（旧姓：森本）

北川先生、長くお疲れ様でした。

私がいた頃は遥か昔ですが、そのころよりの熱く熱心な指導が今季の素晴らしい成果に繋がったと思います。素晴らしい指導者に素晴らしい体育館。そして素晴らしい選手。鹿屋体育大学にはそれが揃っています。北川先生が、退職なさったらまた、熱い指導者が次を繋いでくださるのでしょうか。北川先生の教えを受け継いだ素晴らしい指導者になることを期待しています。

先生が指導者して下さったこと、見せて下さったこと、しっかり再度心に刻んで邁進していきたいと思います。

私は誉められた学生ではありませんでしたが…今しっかり大地に足を踏みしめていられるのは、あの頃御指導くださったからに違いありません。

北川先生、ありがとうございました。

本当にありがとうございました。

最大の成長期！

15期生 下田代 真人

とにかく北川先生には、事ある毎にオリンピックを目指すための心構えや取り組み姿勢、物の見方や物の考え方を、嫌がられるぐらい、しつこくしつこく話を聞きにいきました。

オリンピック代表の世界観が、どのようなものなのかを吸収したい気持ちが強く、本当にしつこかったと思います。

その想いをいつも真正面から受け止めて頂き、丁寧に手ほどきしていただきました。

すべては僕の力不足、努力不足により、世界への夢は、夢のままとなってしまいましたが、最も悔やまれるのは、アメリカ留学への話をしてくださったのに、まともに考えられなかったことでした。

明らかに、僕の世界観の成長不足でした。「海外留学に踏み出す勇気が無かった」と言う方が正直な気持ちだったかもしれません。

在学中に成し得た成長は計り知れず、そこには常に意見を尊重して下さった北川先生の存在がありました。

口酸っぱく指導して頂いた一つに、「良いところ探し」があります。

特に入学当時、この思考がズバ抜けて欠落していました。どうしても、競技を極める中で、欠点を修正する考えが強く、悪いところばかり探す「クセ」が、かなり根強く付いていました。

技術の修正案について先生に何うと、

「また悪いところ探しになってるよ。なぜ良いところをもっと探せないの」と指導されました。

言葉では簡単ですが、これが本当に難しく、習得には、かなりの努力を必要としました。

しかし今では、良いところ探しが、とても身につき、それは、子育てから職場での後輩育成まで、すべてに通じ、どんな指導をするにも、そして自分自身と向き合う時にも、最優先すべき大事なことである次元へと行き着きました。

大学卒業から19年が経ちますが、北川先生の下「鹿屋で過ごした4年間に勝る成長期はない！」と断言できます。

本当にありがとうございました。心から感謝しております。

くれぐれもご自愛専一にてお過ごし頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

退職後は、ますます元気ハツラツ、力いっぱい楽しい日々を！



本当にお世話になりました

17期生 永峯 康雄

このたびはご退職の日を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

私は公開講座（現 NIFS）で練習していたこともあり、中学生の頃から北川先生には沢山の事を教えていただきました。教えていただいたことは数え切れず、体操のみならず、高校を選択するうえで進路等にも助言をいただき、本当に感謝してもしきれない想いがございます。

そこで、この記念誌を作成するにあたり、北川先生との思い出の一部を感謝の気持ちとともに、つたない文章で申し訳ありませんが、綴らせていただきたいと思います。

上記の通り、私は中学生の頃から大学で練習させていただいていました。当時から北川先生には、たくさんのお話を教えていただきましたが、中でも着地に関してはその重要性をよく指導していただきました。ある日、着地練習のため、スタンド宙返りで着地止め大会を北川先生と二人ですることになりました。着地があまりうまくなかった私も、その日に教えていただいた技術で、面白いほど止まり、回数も100回を超えたところで、引き分けという形で終わりました。その経験は「これならどんな技でも着地が止められる！」という絶対的な自信となり、また「オリンピック選手と引き分けることができた！」という興奮をおぼえました。

今の私の年齢が当時の北川先生の年齢ぐらいではありますが、今100回宙返りしろと言われても、絶対にできません。むしろ5回できるかもわかりません。北川先生さすがです！

また中学3年生の頃には将来は鹿屋体育大学に入学したいという思いを伝えると、高校はれいめい高校がいいよだとか、高校時代はこんな練習を心掛けなさいだとか、競争率の高い鹿屋に入学するための練習方法や、心構えなどを教えていただき、そのことが、夢の一つであった鹿屋への入学に繋がりました。

大学での思い出もたくさんありますが、一番の思い出はやはり4年の全日本インカレです。団体は2部落ちするのではないかとされており、状況としては良くありませんでした。

北川先生から「この練習計画をこなすことができれば大丈夫」といわれた計画で練習を重ね、北川先生にもお忙しい中、毎日練習に来ていただき全員で必死に食らいついていました。

練習のおかげでインカレ当日は失敗する気が全くしないほど仕上がっていましたが、1種目目の吊り輪で、まさかの輪に腕が入ってしまう失敗があり、自分でもわかるほど動揺と混乱がひどい状態になってしまいました。まだ始まったばかりの1種目目。どうにか自分を抑えるために閃いたのが北川先生に背中を思いきり叩いてもらうことでした。

永峯「北川先生！このままじゃダメな気がするので、背中を叩いて気合を入れてもらえないですか！」

北川先生「え？（だいぶ困られた顔で）」

永峯「気合が足りません！お願いします！」

北川先生「背中を叩けばいいのね？」

永峯「はい！」

「パンッ！」

永峯「もっと強くお願いします！」

北川先生「強くやっていいのね？」

永峯「思っきりお願いします!!!」

「バシッ！」

永峯「ありがとうございます。もう大丈夫です！」

正直、応援席の皆様から「あいつ大丈夫か？」という視線がだいぶ痛かったですが、おかげで気持ちが落ち着きました。2回目に叩いていただいた時はもっと強く叩いてほしかったぐらいでしたが、それが北川先生の優しさなんだと思い、逆に落ち着きを取り戻せたように思います。(北川先生も「こいつ大丈夫か？」という顔をされていましたが…)

そのおかげでいつもの自分を取り戻し、残りの種目はノーミスで演技することができました。また床では北川先生こだわりの着地で、全ての技を止めることもできました。

当時キャプテンを任されていた私に実力はなく、団体メンバーになれるかどうかのレベルで、そんな私が団体を2部落ちさせることなく、次の代に引き継いでもらうには、全員が同じ目標に全力で取り組む環境を整えることが必要だと感じていました。そんな私が無理を言って北川先生に毎日必ず練習を見てもらい、いろんな話をしながら北川先生と全員で作っていったチームだからこそ、弱気になった自分をどうにかしてくれるのは北川先生しかいないと思い、檄を入れてもらいました。本当にありがとうございました。

北川先生から教えていただいたことや、思い出は今の私の力となっています。中学2年生から現在まで鹿屋の体育館や試合会場でお会いするのが当たり前だった北川先生が退職されるのは本当に寂しい思いですが、お体に気を付けて今後の人生もアクティブに送っていただけたらと思います。まだまだお世話になることもあるかと思いますが、今後ともよろしくお願いします。

「ご退職に寄せて」



17期生 後藤 佳代子（旧姓：下田）

北川淳一先生、この度はご退官おめでとうございます。北川先生が退官されると聞いて時の流れの早さを改めて感じます。体育大の体育館へ帰ったら、いつでも北川先生がおられるのが当たり前だと思っていたので、寂しくなります。在学中は温かいご指導をいただきありがとうございました。今振り返ってみるとたくさんの思い出が蘇ってきます。

北川先生のこと私の特印象に残っていることは、先生が体操をされているお姿です。短かめのピッチとした短パンで、くるくる回って難しい技をいとも簡単にされる先生を初めて拝見したときは驚きました。特にトランポリンでは、驚異の空中感覚に「なんだこの人は！超人がいる！」と思った入学間もない頃の出来事を今でも鮮明に覚えています。また、怪我をして手術になり落ち込んでいる私に「今しかできないことがある。今がチャンスなんだよね。」と励ましの言葉をかけていただいたことがありました。世界で活躍された先生からのお言葉にはとても重みがありました。授業の中では、先生の指導される体操やなわとびが大好きでした。特に長なわとびの授業で色々と変わった跳び方を教えていただきました。児童発達支援事業所で保育士として働いている私にとって、子どもたちに体を動かす楽しさを伝える土台となっています。その他にも、アイスコーヒーのコップの水滴を拭かずに出して怒られたり、電話対応の言葉づかいを注意されたり・・・先生には本当に常識を知らない学生だった私に体操競技だけでなく多くのことをご指導いただきました。卒業後、れいめい高等学校で勤務した5年間は、合宿や試合等でも大変お世話になりました。

さて、退官後は、「アイランドスポーツクラブキタガワ」でご指導されると聞きました。ホームページを7歳、5歳の我が子と一緒に拝見しましたが「行ってみたい。」と目をキラキラさせていました。主人も体育大の卒業生です。第二の故郷鹿屋へはいつも「遊びにいきたい。」と話しています。コロナ禍が落ち着いたらぜひ行かせてください。北川先生、今まで本当にお疲れさまでした

。



ありがとうございました

18期生 井端 博之



北川先生、ご退職おめでとうございます。いつお会いしても若々しくお元気で、そんな北川先生が退職されると聞き、時の流れの早さを感じました。

在学中はたくさんのご指導をいただき、本当にありがとうございました。私が大学を離れてからは10年以上が経ちますが、振り返ると学生時代のたくさんの経験や思い出に支えられている自分がいます。私自身はチームに入るような主力選手ではありませんでしたが、北川先生からは、体操に対する向き合い方や難度の低い技でも捌き方を褒めていただいたことが思い出に残っています。私自身も不思議に感じますが、仕事が上手くいかず落ち込んだ時、なぜか北川先生からかけもらった言葉を思い出し、少し元気になったりします。

当時は、たくさんある会話の一部として受け止めていたように思うのですが、10年以上経った今もその言葉が自分の中で生き続けていることを考えると、改めて北川先生の存在の大きさを実感しています。

体育館でたくさんお世話になった思い出がある中で、北川先生が体育館にいらっしやなくなるのは、とてもさびしく感じますが、今後のご健康とますますのご活躍を心よりお祈りいたしております。本当にありがとうございました。

おめでとうございます

18期生 中本勝也

この度のご退職、心よりお祝い申し上げます。36年間、本当にお疲れ様でした。また、大学生活の4年間、ご指導頂いたことに改めて御礼申し上げます。

北川先生が、「何事も前向きに」とおっしゃられていたことは、体操とは離れた仕事をしている現在でも、私を元気づけてくださいます。また、社会人大会をご一緒に参加できたことは、とても楽しい思い出となっております。またいつか、大会やOB会でお会いできる日を楽しみにしております。

これからの益々のご活躍とご健勝を祈念いたします。この度は、誠におめでとうございます。

北川先生と言えば

18 期生 正見こずえ

北川先生といえば、諸先輩方から語り継がれてきた数多くの伝説です。私は、鹿屋で6年とちょっと体操の頑張り方と楽しいお酒の飲み方を積極的に勉強しました。軽練と OFF の前日は誰かとどこかで飲みました。そしてその場で語り継がれていたのが北川先生の伝説です。

- ・心の部屋のどこかに、北川先生がコーナーを鹿ジャンプで曲がりながら助走に繋げ、からのサルト、からの顔着する?! 床の演技のビデオがあるとかないとか。
- ・ロープを登り切ったところに北川先生の写真があってメッセージが書いてあるとか。
- ・かつていろいろあって、北川先生がキャプテンをする!! って、なった時期があるとか。
- ・ゼミでドイツ体操の創設者「ヤーン」について少し嬉しそうに説明するとか。

そんな伝説がいくつもあったように思います。そして私は、今でいうシニア・マスターズ大会で、北川先生の伝説になるであろう演技を目撃しました。

私は自身の試合の翌日、観覧席で応援していました。まず北川先生は、吊り輪でスイングをし始めました。空中ブランコみたいに脚前挙をして会場が沸いた記憶があります。そして確か跳馬で足を痛めてしまいました。その後の器具種目は痛みを隠しながら、着地もされていたと思います。もちろん胸元にタンマを付けた北川先生は、北川ローレを決め、周囲を賑わせていました。

しかし徐々に種目移動の様子がおかしくなっていました。明らかに痛そうで、もはや片足を引きずっている感じでした。ゆか大丈夫?! 棄権した方が?! って思っていたら、ほぼ蹴らない技で演技を作っていました。記憶があっても、「前転で立ち上がるかと思いきや→バク転と見せかけて→3点倒立で静止する」という謎の決め技でまたしても観客を賑わしました。

どこが壊れても、痛くても、6種目やり切る。そして周囲を盛り上げてしまう凄さ、あ~また北川先生の伝説が生まれた・・・と思いました。

あらためまして、このたびは、ご退職おめでとうございます。鹿屋でのたくさんの思い出には北川先生がいます。関西でも東海でも鹿屋会ではいつも北川先生の伝説が話題に上がります。勝手に語り継いですいません。先生が秀でているからだとか心より尊敬します。

また近年、試合会場では、強豪チーム鹿屋の席には、少々近寄りづらくとも北川先生がいると安心して挨拶に行くことができました。鹿屋の近況はもちろんですが、先生がアスリートだった時の話、アイランドの話、いずれも先生のお話は、全部伝説級です。いろんなお話をしていただけることが大変うれしくありがたかったです。先生が鹿屋の席にいないと少々近寄りがたくなりますが、、コロナが落ち着けば鹿屋を訪問したいと思います。アイランドお邪魔します。引き続き、伝説級のご活躍をお祈りいたします。



おめでとうございます



19期生 王 松雷

ご退職おめでとうございます。長い間大学のご勤務及び体操競技部の監督官のご指導、本当にお疲れ様でした。

時間が経つのは速いものです。大学のことを思い出しますと、懐かしさで胸がいっぱいになります。更に北川先生からいつも格別のご厚情とご指導を賜り、心から深く感謝いたしております。お仕事でこれからの第2の人生はご家族と過ごす時間を増やしたり、少しのんびりしたり、好きな趣味で満喫してください。

これからもご家族のために健康第一で楽しく、長生きして下さい。最後、末ながいご多幸をお祈りいたします。

北川先生、ご退職おめでとうございます。

19期生 内藤 康規

私は在学中、自分の練習だけでなく指導することもお教えいただき、大変お世話になりました。全日本社会人大会(今は全日本シニア)での勇姿、松竹杯"での素晴らしい演技は今でも脳裏に焼き付いて離れません。というかあの独創性は忘れようにも忘れられません。

今、私はスポーツクラブで子どもたちの体操指導をしておりますが、特になわとび指導などは北川先生の教えをフルに活用させてもらっています。(あたかも自分が考えたかのように…)

また鹿屋に遊びに行こうと思っておりますので、その時はまた訪問させてください。そしてまだまだいろいろ教えていただきたいと思っておりますので、今後もよろしく願います。

これからのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



北川先生ご退職おめでとうございます

19 期生 勝原 健人

北川先生、ご退職おめでとうございます。そして、長きに亘りお勤めご苦労様でした。私が鹿屋で過ごした 7 年間、北川先生には大変お世話になりました。北川先生の一番の印象と言えば、やはり「着地」。私達が 4 年生の強化練習では早朝から夕方まで毎日練習に付き合ってくださいました。私はこの「着地」に関して得意な方ではなかった為、何度も『着地でミスして手を出すくらいなら頭を出せ！』とご指摘を受けたことを今でも鮮明に覚えています。その甲斐あってか 2005 年全国インカレ最初の種目平行棒、試合で止まったことなどない屈身 2 回宙返り下りが見事ピッタリ！そこからチームの士気が高まりほぼノーミスの試合ができました。結果、惜しくも 6 位には届きませんでしたでしたが、私達の一番の思い出の試合となりました。

また、私の鹿屋生活最後の年となった 2008 年、全日本社会人大会において松元先生、北川先生の大活躍のおかげで鹿屋クラブが初の団体総合優勝を果たしました。その中でも北川先生の代名詞とも言うべき技、平行棒の「北川ローレ」やゆかの「後転跳び 3 点倒立」等、会場を沸かせる演技ばかり、もちろん最後の「着地」は絶対に動かない素晴らしい内容でした。更に、どんなに疲れていても演技が終われば選手席に走って帰る姿勢に感服させられました。

現在私は、大阪のアクバススポーツクラブで選手育成に力を注いでいます。北川先生に教わった「演技は最後の着地まで」を子ども達に指導する立場となりました。予選のかかった試合などでは「着地」の 1 歩、0.1 が順位を大きく分ける事を改めて気づかされると共に、今になって「着地」の大切さを痛感させられています。まだまだ未熟ではありますが、これからも北川先生から教わったことを子ども達に伝えていこうと思います。

最後になりましたが、長い間ご指導頂き本当にありがとうございました。今後も、北川先生の更なるご活躍をお祈り致します。



社会人大会にて

感謝

19 期生 廣瀬 峰晃



北川先生、この度は御退職誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私が鹿屋体育大学を卒業してからもう随分と月日が流れてしまいました。社会人となり、同じ鹿児島県の地に居ながらも、なかなかお会いできる日がありませんでしたが、久しぶりに御挨拶ができたときは、学生時代と変わらずに優しく話し掛けてもらいとても嬉しかったです。

当時、先生から御指導頂いたことは今でも私の胸に残り、体操選手として（現在では体操競技に携わる者として）、社会人として（鹿児島県で教員として頑張っています）生きていく上でのベースとなっていることが数多くあります。「当たり前のレベルを上げる」「人間はそんなに弱くはない、限界はまだ先にあるもの」「先を読む（先取り）」「何があってもいつも通りできる力」「うまくいかない中でどう工夫するか」「美しさの追求」等々。体操競技の練習の中で御指導頂いたことばかりですが、同時に人生の教訓として、自分の人間力を上げる考え方をたくさん教わり、深く感謝しています。

学生時代、体操選手としても人間としても恥ずかしい程に未熟だった私は、先生に反抗的な態度を取ったことがありました。そのような中でも先生は、大きな心と広い視野で決して見放さず、御指導してくださいました。スランプに陥ったときにも、松下幸之助氏の「道をひらく」の本を手渡してくださり、何度も助けられたことを覚えています。

クリエイティブで常に新しい発想を生み出し、挑戦を続けてこられた北川先生。これからもお体には十分気を付けてお過ごしください。また、お会いした際には過去、現在、未来のことをたくさん御報告できるのを楽しみにしています。いつまでも御壮健で御活躍なされますように心からお祈り申し上げます。



全日本インカレ：ホテルの前にて

天才、北川先生！

20 期生 濱崎 峻介

北川先生のご退職にあたって少しばかり、私と北川先生の思い出を話させてもらいます。

私の北川先生との出会いは、高校三年生の時です。九州の高校総体の時に、北川先生から直接推薦の話をしていただいたことが最初でした。その時は九州の田舎者だった私は、北川先生がどんな凄い人なのかも知らずに、国立大学で体操ができるという喜びで入学を決意しました。そこから、幻のモスクワオリンピックの代表選手と知った時は衝撃でした！自分たちはオリンピック選手から指導を受けられるということに大変驚いたことを記憶しています。

しかし、そこからの指導に戸惑ったことは正直何回もありました（北川先生申し訳ありません）。例を挙げるなら、ひねりや回転を増やす練習では、やっている練習にさらに1回ひねりを加える練習をするんだと。もし3回ひねりを練習するなら4回ひねりを練習するんだと。いやいや、3回ひねりができないから練習しているのにそれ以上の4回ひねりを練習するという理論に疑問を隠せませんでした。北川先生いわく「4回ひねりができれば3回ひねりなんて余裕だよ」と…。なるほど、さすが、オリンピック選手。考える視点がすごい！また、試合会場でのアップも、何本も何本もいかにいいと、最初の1本目に触った時に通してしまえば、全部の技を確認ができると。ここでもまた私はいやいや、まずはスイングとか倒立とかその器具の感じを確かめて技にいかないと…など思っていました。一度騙されたと思ってやってみると…最初の一で通しができるんですね！驚きました。そして、当然失敗する技もありますが、2本目で確認するとなぜか体が軽い。そして、本当に2本で種目の確認ができるなんて、自分の固定観念を打ち砕かれた瞬間でした。恐るべし北川マジック。この他にも、体操に関する新しい考え方や、自分にはない発想をたくさん教えていただきました。

私は北川先生のお陰で、自分の体操に対する考え方をかなり柔軟にさせていただきました。そして、人生に対する生き方なども学ばせてもらいました。そのうちの一つが「良かった探し」です。同じ出来事に関しても、その良かったところを探す工夫をする。究極のポジティブ思考であり、常に楽しいことを模索する北川先生の姿そのものだと感じました。大学時代はもちろん、社会に出てからも悔しいことや、失敗することがありますが、この前向きな言葉で何度救われたか分かりません。本当にありがとうございます。そして、勝手ながら今教員をしていて私自身生徒にも伝えさせてもらっている言葉です。

北川先生が鹿屋に来られたのが1984年。まさに私の生まれた年です。私が今まで生きてきた年月をずっと鹿屋体育大学体操競技部を支え、強くしていただいたと思うと頭が上がりません。そして、その最後の年に私がOB会長として、先生の退職に携われるということも何かの縁を感じます。本当に長い間お疲れさまでした。先生とともに過ごした6年間はとても楽しく、人としても成長させていただいたと感じています。時代を先取り、常に新しいこと、人を驚かせることを行う北川先生の新たな出発が実り多きものとなりますよう祈っております。ご退職おめでとうございます！



おめでとうございます



20期生 劔持 梨沙（旧姓：田中）

北川先生、この度は、ご退職おめでとうございます。

年齢に関係なくパワフルにご活躍されていて、沢山の勇気をいただきました。

私も先生を見習って、年齢に負けずアクティブに活動していきたいと思います。

長期に亘り、私達鹿屋生を支えて下さり、本当にありがとうございました。

今後とも、ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

20期生 泉澤 奈津子（旧姓：上田）

ご定年おめでとうございます。長い間、本当にお疲れ様でした。

北川先生には在学中はもとより、卒業してからも気にかけていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

この文を書くにあたり在学中のことを思い出していましたが、練習も飲み場も登山などのレクリエーションの場も…お陰様で本当に楽しかった思い出ばかりが浮かびました。

最近はSNSでしか鹿屋のことは見ていませんが、後輩たちはいつも楽しそうで卒業生としてとても嬉しいです。そんな鹿屋を長きに渡り創ってくださりありがとうございます。

ご退職後もトランポリンなどがある楽しそうな施設に行かれるとのことで、ますますのご活躍をお祈りいたします。



20期生 川上 諒子

この度は御退職おめでとうございます。在学中は、いつも温かくご指導いただき誠にありがとうございました。

北川先生の卓越した着地技術、今でも鮮明に記憶に残っています。体操競技部の輝かしい戦績のニュースにいつも励まされ、感謝しております。御退職後も、健康に留意され、幸多き人生を歩まれますようお祈り申し上げます。



偉大な先生

20 期生、久保田理恵



この度のご退職心よりお祝い申し上げます。

鹿屋を離れてからあっという間に 16 年が経ちました。でもなぜでしょう？北川先生とは遠く離れているのに、よくお会いしていた気がします。

卒業後も西日本インカレや全日本インカレへ可能な限り足を運び、還暦を祝う会に参加し、最近では SNS で近況を垣間見ることが出来るからかもしれません。

今回は、お祝いとともに私が思う北川先生について振り返ってみました。

私の思う北川先生ってこんな人

その①発想力が凄い！

私が卒業した後もあったのでしょうか？現在の大学シラバス（HP）を拝見すると見当たらない。。。『縄跳びトランポリン』と『体操競技アスリート論・実習』なのですが、当時は何の疑問ももっていなかったこれらの授業がとても特殊な事を、卒業して始めて気付きました。

【短縄跳び】

技の組み合わせで跳び方が無限に！えっ!?北川先生、50's 達人やん！小学校の縄跳びカード、進化版でした。

【長縄跳び】

長縄は一本という固定概念を覆す組合せ！練習前に廊下を走るより、心拍数上がるし汗かけるやん!?

【トランポリン】

技をつなげるだけじゃない。。。ゴムマットに描かれているライン！そのマス目！そこ使うの!?

【ミニトラ】

なぜ補助台に着地!?トランポリンを使った技の練習なのか？着地の練習なのか？あっ、捻挫した。。。不器用な私は、楽しいはずの縄跳びとトランポリンが大学で楽しいけれど苦戦種目になりましたね。何を言いたいのかかという、発想の転換と工夫次第で様々な使い方ができるということを北川先生の授業から学びました。私には無い発想だったので、とても印象に残っています。

その②実行力、行動力が凄い！

その①を実行していることももちろんですが、他にも強く感じたことがあります。

試合の応援に行った際、鹿屋の席へご挨拶に行くと『久保田、ココに座るといいよ！』と毎回先生のお隣を空けてくださいます。私は勝手に、自分の指定席だと思っています（笑）先生のお隣に座ると色々なお話をお伺いする事ができるのですが、その中に今の「アイランドスポーツクラブキタガワ」の構想段階のお話がありました。

タブレットを片手に（うちの父は当時ガラケーしか使えなかったのに、、、）何やら設計図らしきものを見せていただきました。

北川先生：「退職したら体育館を建てたいんだよね～大型のトランポリンも欲しいし、クライミングの壁もつけたいんだよね～大きなボールプールもいいよね～、トランポリンは海外から船で運ぶと費

用は抑えられるから、英文で色々聞いてるんだよ〜。」←この時点で凄い！ビックリです！でも、これだけではなかったのです。。。+αお子さん達のことまで考えられていました。当時、翔一君は大学で心理学を学んでいたと思います。その学びと平行し、北川先生の幼稚園指導にも同行させることで幼児体育を学びクラブの指導者にする案！

さらに！「クラブに通う子どもだけでなくその保護者にも、リラックスしながら子ども達が運動している姿を見れるようにしたいんだよね〜」と体育館内にはカフェを作り、娘さんに任せるといふ・・・保護者様の心までガッツリ掴み、娘さんを鹿屋へ呼び戻す用意周到なスペシャル案です！聞いた当時は、先生は年齢を重ねられても変わらず発想力豊かだなくらいにしか思っていませんでした。。。が、その何年か後の年賀状と Facebook 情報で「アイランドスポーツクラブキタガワ」の完成を知り、それはもう驚愕ですよ。あの「こんなの作りたい！」を現実させる。それを、やりきってしまうところが本当天晴れでございます。

その③ 飴と鞭の加減が絶妙

在学中は、北川先生の指導の下 NIFS スポーツクラブの楽しい体操教室と、まつした幼稚園の体育指導で幼児体育の基礎を学びました。北川先生からは、子ども達に技術的な事を教えることはもちろんですが、躰と叱り方も同時に教わりました。

大人と違い、子どもは言葉だけで全てを理解させることは難しいです。楽しいこと、危険なこと、今すべきこと、他のお友達との関わり、協力し合う、お約束を守る等、技術以外の事も正しく噛み砕いて伝える必要がある事を先生の指導から学びました。

北川先生は、どちらかと言えばやや鞭多めです。叱る時は容赦なく叱っていました。飴と鞭の加減は人それぞれだと思いますが、なぜ叱られているのを、子ども達へ「分かる？」とちゃんと理由を言って聞かせ、理解させる事を怠らなければ鞭が少し多めでも子ども達は先生について行く事を目の当たりにしました。

この経験は、私のその後の仕事に大きく影響しとても役立ちました。

アイデアをアウトプットする力を持ち、それをどうしたらより良いものにできるかを考え、確かなものにして軌道に乗せる。北川先生のこの素晴らしい力の全てが、今のアイランドスポーツクラブキタガワに繋がっていると思います。きっと今後も北川武勇伝はまだまだ生まれるのではないのでしょうか。退職された後もそのご活躍を期待してやみません。という事で、遅ればせながら先程ポチッとアイランドスポーツクラブキタガワをフォロー！！

様々な情報配信を楽しみにしております。

最後になりましたがこれからも健康で素敵な人生を歩まれますよう、お祈り申し上げます。



ありがとうございました

21 期生 荒木 雅之

北川先生、この度はご退職心からお祝い申し上げます。鹿屋体育大学での先生のご指導のお蔭で現在の私がおります。先生と初めて出会ったのは高校2年生の近畿大会だったかと思います。先生の独自のオーラに緊張しながらお話したことを思い出します。当時、男子体操競技部の推薦枠が1名しかなく、私を選んでいただいたこと、深く感謝いたします。また、私が順天堂大学修士課程へ進もうと決めたのも先生が順天堂大学出身であるからこそであります。

4年間を振り返ると、競技生活において様々ご迷惑もおかけしたこともありましたが、先生が日ごろから言っていた「何事にも幅を広げて引き出しを多く持つこと、そして挑戦が大事」とご指導くださっていたことを今でも覚えています。大学4年、主将として迎えた全日本インカレはチームとして、また個人としてもまさに挑戦でありました。先輩方が築いてくださった1部に残ることを達成するためには、私自身失敗が許されない状況で、1部に残ることができたのも、松元先生、諸先輩方、そして北川先生が温かく時には厳しい指導があったからです。改めて感謝申し上げます。

退職後、アイランドスポーツクラブキタガワで指導されると聞いております。当時先生が構想を練っていたことが実現したこと、大変嬉しく思います。きっと子どもから大人までが楽しめる施設になっているのではないかと思います。どうか、お体には十分気を付けて、ご家族皆様の今後のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

北川淳一先生から学んだこと

21 期生 濱崎 早知（旧姓：堀越）

私が、鹿屋体育大学に入学したのは、もう 15 年ほど前のこととなります。幼少期の私は様々な習い事を経験した中で体操競技の道一本に絞り、全日本ジュニア大会やインターハイを経て、鹿屋体育大学に入学することができました。北川先生に初めてお会いしたのは入学したその時で、私にとって体操競技につながる考え方や動き方も少しずつ変化できた時だったと思います。

ジュニアの頃は、基礎を大事にすることや新しい技を必死に覚えて、何とか演技構成に入れることを頑張り練習していましたが、北川先生に教えていただいた特にトランポリン、縄跳びの講座は衝撃的であり、刺激的なものでした。それが体操につながるとは考えたことがなく、体操のために種目以外のことを必死に練習したこともなかったからです。しかし、それからというもの、自分で考えて体操と向き合い、必要なことをあらゆる方法で練習するということができるようになり、着地の 0.1 を大切に意識してできるようになりました。この 0.1 で救われたことのあるのは事実です。そして今でも競技では大事とされている 0.1・・・本当に貴重な事を教えていただけたと思います。

小学 1 年生から大学 4 年生まで競技を続けた 16 年間・・・今は競技生活をはなれて 13 年ほどとなったことに気づきました。3 人の子供を出産し、親となった今、自分にとれる時間を作ることが出来ず、動けない身体になってしまい悔しく悲しい現状です。しかし、そんな私にもできることが、体操を教えること。

卒業後に、3 年ほど指導した子供たちも、もう大学生であったりとすでに立派な大人となっています。それ以来指導からは離れてしまい、今は県内での審判など少しのお手伝い程度しかできていませんが、今でも私が体操を好きなことには変わりはないので、これからもできるだけ体操に関わり、チャンスある限り伝えていくことはしていきたいなと思っているところです。

いつまでたっても体操が好きで体操の楽しさを伝えられる人でありたい

北川先生、この度はご退職おめでとうございます！！
ありがとうございました！



感謝

22 期生 五反 悠紀



北川先生のご退職にあたり、恐縮ではありますが筆を執らせていただきます。

卒業から早 12 年が経ちました。今でも、在学中の記憶は鮮明に残っており、あの体育館で汗水流したことを最近のこのように思い出します。大学入学前の合宿から始まり、卒業に至るまで、大変なご迷惑をかけたと認識しています。北川先生もご存知の通り、私は非常に不出来な競技者であり、先生方、OB の方々、また在学中の学生には本当に頭が下がる思いでいっぱいです。どうしてあの時もう少し落ち着くことができなかつたのか、余裕を持つことができなかつたのか…などと、今でも悔いは積もるばかりです。それでも、やはり私は、鹿屋体育大学で体操競技

部に属していたこと、そして先生方のもとで指導を受けてきたことを誇りに思っています。

私は、体操競技ひいては大学時代の指導から、競技力や礼節だけでなく、自分自身に真剣に向き合い主体的となって努力研鑽する素晴らしさ、困難な状況を克服することの大切さ、ポジティブにチャレンジし続けていく重要さなど、人間力の基礎を作っていたいただいたと思っています。北川先生は私のことをよく「真面目である」とおっしゃってください、私はこれを喜んでいた時期もありましたが、競技者であった以上、やはり期待されていた成績を収めることが一番の目標でした。

当時、全力で競技に取り組んでいた事は間違いありません。しかし、技ができない、点数が出せないこと以上に、私が 1 番弱かつた原因は、自分自身を最後まで信じられなかつた心でした。

北川先生との思い出話を綴ろうかと思って書き出しましたが、やはり自分のこととなってしまい申し訳ありません。1 つ、印象に残っている話をさせていただきます。実は、同期生と体育館の掃除中、北川先生の学生時代の頃に描いていた「練習ノート」を見つけてしまい、好奇心に駆られ、勝手に見てしまったことがありました。始めは皆興味半分で見始めていたところ、途中からは誰も言葉が出なくなり、静かにノートを 1 ページずつめくりました。先生の体操競技に対する真剣味、凄みを肌を感じたからでした。体操競技というスポーツをする上で、その一瞬にいかにも真剣になるか、誠実に向き合うか、人生をかけることができるのかという先生の本気さが心に響き、そのほんの数分間が本当に勉強になった時間だったことを今でも覚えています。

これら全ての経験を踏まえ、私は今、警察官と言う仕事に本気で真正面から向き合うことができています。私にも部下ができ、階級が上がるにつれ誇りや使命感、責任感が増えました。信念ある生き方、充実した日々を送ることができています。これもひとえに、大学で先生と出会わせていただき、競技以上の教養を受けることができたおかげであると、心から感謝しております。これからも先生方の名に恥じぬよう、大学時代の学びを社会のために尽くしていくことが、私のせめてもの恩返しではないかと感じる次第です。

結となりますが、北川先生、この度はご退職まことにおめでとうございませす。そして、鹿屋体育大学での勤務、大変ご苦勞様でした。熊本の地から、先生のご健康と益々のご活躍をお祈りしています。

ありがとうございました

22期生 中川 めぐみ（旧姓：清水）



北川先生、長きに渡り鹿屋体育大学を支えてくださりありがとうございました。体操以外にも多くのことを教えていただき、感謝しています。

大学時代に個人としてもチームとしてもなかなかうまくいかないとき、「今が一番辛い時期だけど、ずっとは続かないから頑張っ」と励ましていただいたことは忘れません。

また、NIFSで私がどのような指導が良いか模索していると、山本五十六さんの「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。」という名言を踏まえてアドバイスいただきました。

大学卒業後も、体操指導や職場での後輩指導、育児において、先生からの教えを思い出しながら奮闘しています。ありがとうございました。

今後のご健康と新しい職場でのさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

おめでとうございます

22期生 藤原 潤



北川先生、ご退職おめでとうございます。学生時代は大変お世話になりました。順大の大学院に進んでからも、北川先生のごことは色々な方に伺いましたが、独自の技と着地の強さ、そして猫のような細かい動きをしたと皆さん口を揃えて仰っていました。

それを聞いて私も、鹿屋で見せて頂いた平行棒のディアミドフや跳馬のカサマツとびを思い出しました。

東京インカレ後に駒場高校で北川ローレを見せて頂き、後輩達と一緒に拍手をしたのも懐かしい思い出です。

今後は翔一君の経営されるクラブでご指導されるのでしょうか。北川先生のご指導が、鹿屋の多くの子供たちに届くことを願っております。

鹿屋に行く機会がありましたら是非立ち寄らせて下さい。

またお会いできる日を楽しみにしております。

北川先生、ご退職おめでとうございます。

22 期生 脇田 憲人



早いもので、私が鹿屋を卒業してから 12 年が経ちます。この 12 年を振り返ると、鹿屋で学んだ経験が自分の中で生きていて、そのおかげでやってこれたと感じています。特に、NIFS で子どもたちへの指導方法を学んだことが大きく、保育園や幼稚園での消防訓練指導において存分に発揮されています。どうやったら子どもたちにうまく伝わるかを考えていると、不思議なことに、頭の中に北川先生が現れ、私に実演して見せてくれます。そのとおりに指導すると、たちまち子どもたちのヒーロー

ーになれます。

また、北川先生から教えていただいた「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ。」の言葉が印象に残っています。部下を指導する上で意識しなければいけないことが凝縮された言葉だと思いました。

北川先生のご指導のおかげで、社会に出てからも無事に過ごせていると思います。本当にありがとうございました。

最後に、自分の話になってしまいますが、2 歳になる子どもがいます。「魔の 2 歳児」とか「イヤイヤ期」と呼ばれる時期になりますが、鹿屋で学んだ「北川式子どもの指導方法」なら、うまくいくと確信しています。

素敵な先生！

22 期生 山本 瑠美（旧姓:吉川）



北川先生、この度は御退職おめでとうございます。そして、長年にわたる研究生活お疲れ様でした。

鹿屋を卒業して 10 年以上経ちますが、その中で一番印象に残っているのは北川先生の縄跳びの授業です。大縄を何本も使い跳んだりする発想がとても面白く、楽しかったです。

そしてトランポリンでの着地の大切さ、「猫のように着地をするんだよ！」と言ってお手本を見せてくれ、どの選手よりも北川先生が上手だったこと、さすがだなあ☆とっていました。

これからもご健康で北川先生の発想のユニークさで、素敵な時間を過ごされますように心から祈っております。

北川先生、ご退職おめでとうございます。

24期生 本嶋 良恵



「元気？聞いてるよ！」 2019年6月、3年ぶりに鹿屋体育大学に戻ってきて、北川先生にご挨拶に伺った時、こう声を掛けてくださいましたね。大学に入学したあの頃も、何もできない私に、「元気？」から始まり、「今の良かったよ」や「上手くなったね」などと、よく声を掛けてくださっていたこと、懐かしく思い出しました。

体操競技部の仲間と過ごした大学4年間、その後大学院での5年間、北川先生には、本当に伸び伸びとやりたいことを自由にやらせていただいたと思っています。特に、大学院進学後はほとんど練習には行かないのに体操教室の指導を続けさせてもらい、体操との繋がりを持たせてもらったこと、感謝しています。また、北川先生に指導時の目の動きを計測させてくださいと実験の被検者のお願いした時も、快く協力してくださいましたね。「何のために？」ではなく、「いつやる？何をしたらいいの？」と。北川先生だからお願いできたのかなと今改めて思います。

昨年7月に行った着地動作の実験が北川先生と一緒にさせてもらった最初で最後の仕事でしょうか。打ち合わせ等をする中で、北川先生の着地の理論、考え方を改めて勉強させていただきました。そしてやはり、体操との結びつきをくれるのは、北川先生だったなあと感じました。

これまで本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願い致します。

おめでとうございます

24期生 石郷 永莉

この度はご退職おめでとうございます。36年間、ご指導お疲れ様でした。

在学中は先生のご指導のお陰で日々成長することができました。また体操だけでなく、生活面や社会人になるためのご指導も頂き、現在の私があります。

大変お世話になりました。

これからはより一層、健康で充実した第二の人生をお過ごしできることを願っております。

またお会いできる機会がありましたら、その際は宜しくお願い致します。



おめでとうございます

24期生 西峯 ナナ（旧姓：河野）

北川先生退職おめでとうございます。そして、長い間お疲れ様でした。私が鹿屋体育大学に入学した時に松元先生が退職され、北川先生と齋藤先生が部長・監督でおられました。北川先生が退職されると聞いて、時が流れるのは早いな・・・とつくづく感じながらパソコンにむかいました。36年という長い間勤められた最後の全日本インカレが準優勝という素晴らしい結果で、流石！北川先生！と思いました。2020年の全日本インカレはコロナの関係で応援に行くことは出来ませんでした。鹿屋のフェイスブックで結果を知り、感動しました。改めておめでとうございます。

学生時代は一緒に幼稚園に行き、指導の勉強をさせて頂いたり、北川先生の学生の時の貴重なお話を聞かせて頂いたり、社会に出てからのご指導も頂き、本当にお世話になりました。

OB・OGになってからは、鹿屋会でお酒を飲みながら先生方と話すのが楽しかったです。全日本インカレでお会いするといつも「ナナ元気？」と声をかけて頂き、嬉しかったです。

またお会い出来るのを楽しみにしています。これからも北川先生らしく、笑顔溢れる毎日をお過ごし出来る事を心より願っております。

私事ではありますが、2020年に長男を出産致しました。鹿屋に行った際は、アイランドスポーツクラブキタガワに遊びに行かせて下さい！北川先生にいただいたパンフレットまだ持っています（笑）



ご迷惑おかけしました

25期生 一同（池田善雄・辻村拓実・町田和樹・松井雄介・辰巳真優・吉田志帆）

代表執筆 松井 雄介

この度はつつがなくご退職の日を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

ここに25期生より、先生にお礼の言葉を述べさせていただきたく、筆を取らせていただきました。このご時世ですし、皆が遠方ということも御座いまして、直接お祝いの言葉を述べられないこと、ご容赦ください。

北川先生にご指導いただき、先生が残されたものは有形無形に偉大なものがございます。しかし、我々25期生の記憶に残っている北川先生は、たまに怒りますが、とても気さくで親しみやすい先生でした。

特に、我々の代は変革期でもありました。

1部と2部を行ったり来たりして、その後村田先生を迎えて、新体制で練習からすべて変わり、意識も力も部活として過去の風習も、大きく変わったことを覚えています。

ワールドカップに行ったり、全日本で跳馬優勝したり、ワンパクでその分すごい怒られもしましたが、めちゃくちゃ楽しかったです。

ただ、25期はハチャメチャすぎる節もあったので、今回のお祝いを述べるのに、皆反省しております。個人的にご迷惑をおかけした人が、何人も・・・

というよりも全員が個人的にご迷惑をおかけしたと思います。

しかし、今もみんな元気で、それぞれの道を突き進んでおります。

そして、いまだに皆で話すと、すぐにふざけて收拾がつかなくなります。

そんな僕たちを叱ってくれ、導いてくれ、一緒に笑ってくれて、北川先生の人間性を一番近くで感じていた代でもありますので、たくさんのことを温かい目で見守って頂き、大変感謝しております。いつもありがとうございました。

いつかまたコロナが収まりましたら、直接お会いできるその日まで、どうかお体ご自愛ください。そして北川先生のご多幸をお祈り申し上げます。

長い間誠にありがとうございました。



お祝いの言葉

26期生 村田 悠（旧姓：磯野）

北川先生、この度はご退職誠におめでとうございます。

学生時代から長きにわたって、公私ともに大変お世話になりました。

競技力は決して高くはなかった私ですが、素晴らしい先生や環境のおかげで体操競技人生の中で一番楽しく、充実し、上達するスピードも早かったように思います。怖がりだった私に北川先生はいつも明るく笑顔で「大丈夫、練習していけば悠ならすぐできるようになるよ!」と声をかけてくださいました。女子の監督が急にいなくなって不安に思っていた私たちでしたが、北川先生がいてくださったおかげで、安心して練習も続けることができました。

調整力トレーニングやNIFSの時間は特に印象的で、初めは「どうしてこんなものするんだろう」と思っていました。でも、どちらも奥が深く難しく、とても興味をもって、卒業する頃には、大好きな時間になりました。北川先生の調整力トレーニングのお手本にはいつも驚きでした。そして卒業してからもとても役に立つことばかりで…勉強できて本当に良かったと思います。

「社会人になったら…」と先生にはよく教えていただきましたが、当時の私は、体操が一番しんどいはずだ!体操頑張ってるから大丈夫。と思っていました。でも今になってみると、子どもたちに指導する仕事、人間関係、主婦の仕事、子育て、そして今見させていただいている大学生への指導。どれもそれぞれにとっても大変で、先生がおっしゃっていたことを痛感しております。そんな時にはいつも先生のように、何でも工夫して楽しむ引き出しをたくさん増やせるよう努力しています。

ご縁があって鹿屋に住むことができ、先生のご指導を拝見し、お話が聞ける環境にあることが嬉しいです。何かとまだまだ未熟ですが、今後ともどうぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



ご退職おめでとうございます

27期生 平岡駿希 鈴木遼 中野周二 藤田千沙

このような状況下、直接お祝いすることができないことを残念に思いますが、学生時代の思い出と現状報告をもちまして、お祝いの言葉と代えさせていただきます。

学生時代には、日々の練習やNIFSスポーツクラブでの子供たちへの指導を通して、社会人として生きていく上で必要なことについてご指導していただきました。特に体操の技については、経験から基づいた分かりやすく的確な助言を頂きました。また、新しい技に挑戦するときに補助をしていただくことで、安心して技に挑戦することができました。ありがとうございました。

その他にも、ゼミでの授業、体操の授業で行った縄跳びや調整力なども、とても印象に残っています。また、跳馬でツカハラを跳ぶ姿を見て、年齢を感じさせない「生涯現役」これからも第一線で活躍される方なのだろうと痛感しておりました。学生達の刺激にもなりました。

体操部での思い出は、今でも鮮明に覚えています。卒業して8年目になろうとしています。学生時代は、多くのご迷惑をお掛けしましたが、温かく見守っていただき感謝しております。私たちは、フィットネスクラブでのインストラクターや教員などそれぞれの道を歩んでいます。私たちが胸を張って働ける今があるのは、鹿屋体育大学に入学して北川先生に出会い、ご指導をいただいた経験があったからです。本当にありがとうございました。

北川先生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。また、コロナで大変な時期ではございますが、ご自愛ください。



ご退職誠におめでとうございます。

30期生 大村 仁志

先生から教わっていた頃を思い出し、大変懐かしく感じています。

当時、練習を過度にやりすぎてしまう私に対して「練習しない方が上手くなるよ」「頭の中で練習したら身体疲れないからやってみて」などと違う視点からのアドバイスをよくくださり、その度に「そんな考え方があるんだ」と新しい気づきを得ることができました。

また、社会人になってからも、試合で会う度に「調子はどうだ？」と声を掛けてくださり、その度に頑張る力になっていました。

そして、なんといってもずっと現役でシニアの大会に出場されていた事、本当に尊敬しています。正直、怪我しちゃうのでは？とヒヤヒヤする時もありましたが、試合で成功している姿を見た時は素直に「かっこいいな！」と思っていました。

私も先生のように挑戦し続ける大人でありたいです！

今まで本当にお疲れ様でした。

今後益々のご健勝と末永いご多幸を心よりお祈り申し上げます。



ご退職のお祝い

31 期生 森近 直樹



拝啓 木々や花々の芽吹きが暖かな季節の訪れを告げるこの頃、北川先生におかれましては一層お健やかに過ごしのことかと存じます。

まずは此度の節目を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。創部から 30 年以上に渡り鹿屋体育大学体操競技部を支え続けてくださり、またその歴史の中に自分が巡り合わせていただいて多くを学ばせてもらったこと、本当

に感謝しています。

私は大学を卒業して徳洲会体操クラブに入社し、間もなく 3 年が過ぎようとしています。実は 2020 年に一度「辞めたい」と言ってしまったことがありました。それでも周りの人に支えられて続けることができ、その年の 12 月ようやく、練習でしてきたことが試合で実を結んでくれて喜びを味わいました。この出来事から、私たちを送り出すときに北川先生が言ってくださった『とにかく 3 年は続けること』という言葉の意味を少し理解できた気がしました。

どうやら私はいまうまくいかないことがいくつか出てきただけですぐに音を上げて逃げ出したくなるようです。そういうときには周りを見て聞き入れることもできなくなるようです。乗り越えさせてもらえた今となっては、見ていてくれる人がいること、結果が出るまでには時間も要すること、謙虚さと卑下するのは違うということ、などに気づくことができました。このために必要な 3 年だったのだと感じています。学生の時に北川先生からたくさん話を聴き、“人として”を学んだ気でいました。社会に出て経験することで、その大切さ、有難みを、ひしひしと感じ、ここからがようやく自分の血肉とできるのかなどと思います。北川先生のように温かく愛のある人、と成ることが私の目標です。未熟な私を導き続けてくれるその背中になんか手が届くように、海闊天空にふさわしくなれるように、これからも日々邁進してまいります。

私が在学中の 4 年間、NIFS や幼稚園の指導、論文の書き方など練習以外でもたくさんの経験をさせていただき、大変お世話になりました。そして教授であり体操競技部部長、改めてお疲れ様でした。本当にありがとうございました。

最後になりますが、今後もアイランドスポーツクラブキタガワで先生として現役生活が続くことかと思っておりますので、益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬具



ご退職おめでとうございます

31期生 中野 大貴

長きに亘り、ご指導を頂き本当にありがとうございました。競技や学業のご指導だけでなく、これから私の励みとなる「人としての在り方」を北川先生から教わられたこと。時に厳しく、時に父のように優しくご指導して頂いた事、心より感謝申し上げます。これからも、先生のご健康とご幸運を願っています。本当にお疲れさまでした！」



お疲れさまでした

33期生 小松原 康平

長年の勤務お疲れ様でした。
北川先生からは様々なことを学ばせていただきました。
一緒にカナダに行ったことも良い思い出です。
元気すぎる北川先生、これからも健康第一で生涯現役でいてください！笑
これからもよろしくお願いします。



長い間お勤めお疲れ様でした！

33期生 中谷 至希

新型コロナウイルスの影響もあり直接北川先生の退職を祝えなくて本当に残念で仕方ありません。

北川先生からは体操を通して、人として生きていく上で大切なことをたくさん教えていただきました。社会に出たら三回宙返りできても何の役にもたない！という言葉をよく覚えています。

大切なことはその三回宙返りを覚える過程で忍耐強く我慢することや、地道に努力を重ねることや、仮説検証を繰り返したり、試行錯誤を重ねることなんだと鹿屋にいた4年間で学ぶことができました。また北川先生の生き方にとっても憧れたのを覚えています。

学校の先生をやりたい、自分のクラブを持ちたいというのがやりたいことだったとおっしゃっていたことがありましたよね。そしてどちらももうやっていて、やりたいことはやったんだと言っておられたのを覚えています。

今の世の中、特に若い世代に多いのがやりたいことが何なのか自分でもわからない。やりたいことはあるんだけど、時間や余裕がないと言った人が多いように感じます。

そのような人が多い中、北川先生のようにやりたいことを明確にして、実践しておられる大人を見て、僕も自分の人生に後悔が残らないような生き方をしたいと思いました。

北川先生は60歳になられても体操の試合に出られたり、縄跳びをされたり、スマホゲームをしたり、授業を行ったり、海外に行かれたりと様々なことをしておられてとても若々しく思えます。

自分も歳を重ねても気持ちだけはいつまでも若々しくありたいなと北川先生を見ていつも思っていました。僕と北川先生だけのエピソードを一つ思い出したので書かせてもらいます。

僕が4年生の山口の全日本インカレの時の話です。ホテルの露天風呂で一緒になった時に話した内容を覚えておられますか？多分覚えておられないと思います。

最後の年にキャプテンでありながら、試合に出場すらできず、悔しさと未練を抱えていた当時の僕は北川先生に弱音を吐きました。「出れないって頭ではわかってるんですけど、でもやっぱり悔しいです。出たいです。」と。そんな僕の言葉をきいた北川先生は明るい声で仰りました。

「もう仕方ないよ！僕だってオリンピックがなくなったんだから！」

北川先生にとってはたわいもない会話だったとは思いますが僕にとってはすごい衝撃的な話でした。幻のオリンピックの意味をこの時初めて深く考えました。

今は徳洲会で本気で世界を目指して体操をしています、その最終目標のオリンピックに出られると決まった後、試合自体がなくなるとはどのような気持ちになるのか想像もつきませんでした。

この会話から終わってしまったものは仕方ない。切り替えて次に向けて頑張ろうと前を向けるようになったとともに、北川先生の偉大さに改めて気づいた時でした。

北川先生から学んだたくさんの方のことを自分の人生と、周りの人たちを幸せにするために生かしてこれからも頑張りたいと思います。

今までお疲れ様でした！また今後の人生も応援しています。今度ゆっくりとお話をしたいので鹿児島の方に足を運ばせていただきます！



3 章

ご家族のメッセージ

～北川浩子様より～

退職に想う

奥様 北川 浩子

北川とは開学から共に鹿屋体育大学体操競技部の成長を見続けてきました。部員1名から始まり、少しずつ人数も増え、今ではインカレや世界大会で金メダルを取れるほどになりました。退職を前に、体操指導の集大成として北川の夢が成就したのではないかとおもいます。

思い起こすと初めのころは私たちもまだ若く、学生の兄や姉のような気持ちで接し、バーベキューや餅つきなど一緒に楽しんだものです。

年月が立つといつのまにか、父と母のような感覚になり、皆さんの活躍を陰ながら応援している立場になっていました。

体操部が現在に至るまでに、焦りや、思うようにいかないもどかしさの経験も少なからずあったと思います。しかしながら、迷い悩みながら洗練されていった北川流のやり方で多くの指導者が育ち、巣立っていきました。誠に嬉しいことです。近頃は体操部を安心して任せられる後継者がいることに安心と喜びを感じているようで、学生も社会に出て活躍できるような「人としての生き方」を指導するスタイルへと変わってきました。

私、個人としては、開学初めの時期に北川の海外研修に同行し、海外で指導される多くの先生方との交流やスポーツキャンプなどの体験をさせていただくことができたことも印象深く残っています。国籍を問わない北川の人脈の広さと、さらに現在でもこの交流が続いていることを妻として誇らしく思います。

また、部のイベントなどでは手作りケーキやお鍋、お汁粉などを差し入れする機会がありました。学生の皆さんがおいしそうに食べる姿とからっぽになった鍋を見るたび「大変だったけど作ってよかったなあ」と心に染みるような嬉しさや喜びを感じていました。学生と笑い歩む北川と共に私も体操部の一員になれたようでとても幸せでした。

還暦のお祝いでは、お世話になった方々や立派になった教え子たちなど、懐かしい顔を見ることができました。北川の確かに積み上げてきたものやその軌跡を感じるとともに、全ての素晴らしい方々と出会えたこと、その軌跡を共に歩み、共有してくれた北川にたくさんのありがとうを伝えたいです。

お父さん、長い間お疲れさまでした。
そしてこれから次の目標へ向かう門出のお祝いを申し上げます。
北川はまだまだ夢を持って歩んでまいります。
私も 共に 生きていきたいと思います。



終章

研究・教育実績

主な論文

- 1 1984年 ・スポーツ指導者在外研修を終えて
- 2 1984年 ・保育所における健康・体力づくりに関する試み、
体力測定結果の指導へのフィードバックについて
- 3 1985年 ・体操競技における着地技術に関する研究
- 4 1986年 ・体操競技の着地に関する基礎研究
- 5 ・シューズの底の厚さが着地時に身体に及ぼす影響
- 6 ・なわとび運動に関する基礎研究
- 7 1987年 ・なわとび運動に関する基礎研究（2）
- 8 ・後転倒立の着手方法に関する研究（中手の技術）
- 9 1988年 ・後転倒立における中手の技術に関する研究
- 10 1989年 ・体操競技における着地の練習方法に関する一考察
（トランポリンの有用性）
- 11 1990年 ・鹿屋体育大学生の体格と体力
- 12 ・床運動の後方3回宙返りに関する研究
- 13 1993年 ・体操競技選手における競技意欲と競技成績についての調査研究
- 14 1994年 ・保健体育科目に対する調査報告
- 15 1995年 ・伸身とびの第2空中局面に影響を与える要因
- 16 1999年 ・運動の習熟過程における意識内容の変容に関する研究
- 17 ・平行棒の「横向き後方車輪反対の棒に移って単棒横向き倒立」に関する研究
- 18 2000年 ・運動の自己観察の構造に関する研究
- 19 ・運動習熟者の場合の自己観察の特徴に関する
モルフォロジー的考察
- 20 2002年 ・大学競技選手の食生活と身体組成の現状、
第一報（漕艇、水泳、体操）
- 21 2003年 ・体操競技における「後方宙返りひねり」の
ひねり感覚に関する研究
- 22 2004年 ・体操競技における新式着地マットの着地衝撃に関する研究
- 23 2005年 ・段違い平行棒における「逆手前振り下ろし1/2ひねり
開脚とび越し高棒懸垂」に関する研究
- 24 2007年 ・体操競技における着地調整力向上トレーニングに関する一考察
- 25 ・幼児・児童を対象とした体操教室における運動能力・柔軟性のトレーニング効果--NIFSスポーツクラブ「楽しい体操教室」の実践を通して
- 26 ・幼稚園児における遊び・運動経験及び生活状況と前頭葉機能
- 27 ・幼稚園児における遊び・運動経験及び生活状況と運動能力
- 28 ・幼稚園での運動教育及び遊びの実施状況と前頭葉機能
ならびに運動能力—縦断的検討
- 29 2008 ・幼稚園児における運動・遊び経験と運動能力および前頭葉機能との関連

性—横断的検討ならびに遊びによる介入—:横断的検討ならびに遊びによる介入

- 30 ・幼稚園児における運動・遊び経験と運動能力および前頭葉機能との関連性 —横断的検討ならびに遊びによる介入—
- 31 2009 年 ・初心者の短なわとび運動における後方回旋の指導方法
- 32 ・体操競技ウルトラ G への挑戦-あん馬の新技
「一腕上 540° 上向き転向」の開発-
- 33 ・平行棒における「棒下宙返り 3/4 ひねり倒立」の研究-
「ひねり感覚の混乱」への対処と「ひねり倒立発生」までの指導
ポイントとは-
- 34 ・スポーツ選手のための木柱を用いた簡易な動的バランステストの開発
- 35 2013 年 ・鉄棒における「前方浮腰回転振り出し 1 回半ひねり懸垂」の開発-「前方
浮腰回転振り出し 1 回半ひねり倒立」を目指して-
- 34 2014 年 ・跳馬において踏切位置の手前に障害物を置くことで踏切動作を改善させ
られるか?
- 35 ・平成 25 年度鹿屋体育大学重点プロジェクト事業経費（戦略的 I S O P
経費）報告 2013 年鹿屋体育大学発オリンピック・ムーブメント—古代
オリンピア競技祭復元と現代スポーツ再考—
- 36 2015 年 ・カサマツとび系の跳躍技において着手感覚の違いがパフォーマンスに与
える影響
- 37 ・観察対象者の技能レベルにより体操指導者の視覚探索方略は異なるか?
- 38 2016 年 ・踏切面の違いが体操競技選手及び陸上競技跳躍混成選手の
リバウンドジャンプ遂行能力および跳躍動作に及ぼす影響
- 39 2019 年 ・体操競技選手において演技の技能と基礎体力とを関連づけて
課題を見出す評価法の考案：大学生選手のゆか運動を対象として
- 40 2020 年 ・鉄棒における「懸垂前振り伸身背面とび越し懸垂（トカチェフ）」のコー
チング

書 籍

- 2016 年 3 月 ・PEW 水中運動・歩く・浮かぶ・鍛える
MyISBN -デザインエッグ社 (ISBN: 9784865435399)
・PEW 水中運動・歩く・浮かぶ・鍛える (防水携帯版)
西文社印刷発行

報告書

- 1 2002 年 ・なわとび運動における後方跳びの練習方法に関する報告
- 2 2004 年 ・二回旋跳びの練習方法に関する提唱
- 3 2005 年 ・長なわとびの入り方に関する練習方法
- 4 ・新しい時代の”なわとび運動”

地域貢献

大学公開講座 1986－2021年（35年間）

「楽しい体操教室」1986年5月～2002年7月

（5月と10月に各2時間×10回：18年間）

5歳から13歳を対象に基本的な運動を主とし、毎年40名前後を対象に楽しく身体を動かすことを重点に置いての指導を行った。

「競技入門」1986年5月～1997年2月（2時間×25回：11年間）

体操競技の基本的な技を中心に小学生から高校生の約30名を対象として指導を行った。

「シェープアップ体操」1989年5月（2時間×5回）

主婦を対象に肥満防止と健康でスリムな体を作るための実技指導を行った。

「親子体操Ⅰ、Ⅱ」1989年6,10月（2時間×5回を2回）

親子のふれあいを重要視し、楽しく健康的な運動を親子で実施する指導を行った。

「器械運動指導者養成講座」1990年6月～1992年6月（3年間）

小学校、中学校の教員を中心として、器械運動の指導方法の指導を5名～15名に行った。

NIFS スポーツクラブ

「楽しい体操教室 A・B」2002年5月～2003年2月

5歳から13歳を対象に基本的な運動を主とし、40名前後3クラスを対象に楽しく身体を動かすことを重点に置いての指導を行った（A 1時間×25回、B 1時間×55回）。

総合スポーツクラブ

「NIFS スポーツクラブ」2003年4月～2012年3月

内容は楽しい体操教室 A・B と同様であるが、A を3クラスにして、B を「競技入門」として1クラスと再編成した。多い年には全部で300人近くまで増えた。

NPO 法人 NIFS スポーツクラブ

「体操部門」2012年4月～現在（2021年3月）

その他の地域貢献

- 1984年 8月 講演「幼児期の体育の必要性」鹿屋市保育協会・保育士 160名
1984年 10月 講演「スポーツを通しての人生観」宮崎県飯野高校・生徒 600名
11月 講演・実技指導「家庭でできる肥満を解消するための運動」
鹿屋市勤労婦人センター・勤労婦人 20名
- 1986年 7月 実技指導「健康体操（高齢者の運動指導）」
鹿屋体育大学・第2回社会体育指導者講習会・高齢者 20名
8月 講演「子供たちの体力と健康」鹿屋市西俣小学校・児童 200名
10月 講演・実技指導「スポーツなわとびの指導」
鹿児島県教育委員会主催・県体育センター・教員 150名
7月 講演・実技指導「将来に向けての体力作り」
鹿屋市立西原台小学校・児童と親 200名
7月 実演「トランポリン実演会」鹿屋市ラジオ体操フェスティバル
8月 講演「青少年とスポーツ」
肝属郡田代町教育委員会主催で青少年 200名
10月 講演・実技指導「高齢者の健康体操」
肝属郡大根占町農村勤労福祉センター・高齢者 450名
10月 実演「体操競技の実演会」鹿屋市松下幼稚園の運動会
10月 実演「体操競技の実演会」肝属郡田代町の運動会
10月 講演・実技指導「高齢者の健康体操」
肝属郡田代町開発センターにて町民 150名
12月 講演・実技指導「スポーツなわとびの指導」
肝属郡有明町教育委員会主催で指導者 120名
- 1988年 2月 実技指導「健康体操」鹿屋市国民金融公庫鹿屋支店・社員 20名
3月 講演「少年期のスポーツ傷害と技術指導」
串木野市スポーツ少年団・指導者 50名
4月 実演「体操競技の実演会」肝属郡根占町にて体操競技の実演会
6月 講演・実技指導「親子体操」
名古屋ひまわり幼稚園・幼児と親約 400名
- 1989年 7月 実技指導「器械運動の指導」
西ドイツ・チュービンゲン大学・学生 100名
8月 実技指導「体操競技の指導」
カナダ・ノースヨーク、トマグミ体操キャンプ・小中学生 80名
8月 実技指導「体操競技の指導」
カナダ・ハリファックス・体操キャンプ・小中学生 60名
- 1991年 11月 講演「強い子どもの育て方」鹿屋市松下幼稚園・父兄 100名
11月 実演「体操競技の実演会」鹿屋市本町商店街
11月 実技指導 なわとび運動の指導 新潟県北条市・市民 200名
11月 講演「高齢者の運動」鹿屋市・松下幼稚園・園児の祖父母 70名

- 1992年 6月 講演・実技指導「ラジオ体操の指導」
肝属郡吾平町教育委員会主催・ウォーキングラリー・80名
- 1993年 1月 実演「体操競技の実演会」 肝属郡横川町
5月 講演「体操人生と私」 吹上町スポーツ少年団・中学生 150名
5月 実技指導「体操の指導」
出水市教育委員会・オリンピック記念にて 140名
10月 実技指導「体操、なわとびの指導」
西之表町・熊毛教育委員会・町民 300名
10月 実技指導「なわとびの指導」 鹿屋市商工会主催・町民 270名
11月 講演「これからのスポーツ」
鹿児島県体育指導者研究会・指宿市・市町村体育指導者代表 150名
11月 実演「体操競技の実演会」 鹿屋市主催スポーツフェスタ
- 1994年 1月 実技指導「高齢者の体操」
肝属郡吾平町教育委員会主催・町民 150名
7月 実技指導「親子体操」 鹿屋市第一鹿屋幼稚園・園児と父 200名
8月 実技指導「体操、なわとびの指導（1）」
枕崎市・枕崎小学校 PTA・小学生 300名
9月 放映「親子体操」
NHK 鹿児島・ホットライン鹿児島・視聴者
10月 実演「体操競技の実演会」 鹿屋市松下幼稚園運動会
11月 実技指導「なわとびの指導」 大崎町教育委員会・町民 300名
- 1995年 1月 実技指導「体操・なわとびの指導」
吾平町教育委員会・町民 200名
6月 放映「国際交流（ドイツ）について」
NHK 鹿児島・ホットライン鹿児島・解説
8月 実技指導「体操、なわとびの指導（2）」
枕崎市・枕崎小学校 PTA・小学生 300名
9月 実技指導「親子体操」 吾平町教育委員会主催で町民 150名
11月 講演「健康について」 ジャパンファーム大崎工場・従業員 300名
12月 実技指導「体操、なわとびの指導」
大島郡南種子町教育委員会・町民 400名
- 1996年 1月 実技指導「ウォーキング指導」 肝属郡吾平町教育委員会・町民 250名
2月 実技指導「体操、なわとびの指導（3）」
枕崎市・枕崎小学校 PTA・小学生 234名
6月 実技指導「父と子の体育指導」
鹿屋市の第一鹿屋幼稚園・園児と父 330名
10月 実演「体操競技の実演会」 鹿屋市・寿北小学校
11月 講演「快適な老後と運動」
東串良町教育委員会・公民館長他 200名

- 9月 実技指導「高齢者の運動指導」
吾平町教育委員会高齢者大学・高齢者 18名
- 11月 実技指導 器械運動の指導 吾平町下名小学校・小学生 52名
- 2003年 1月～2月 長期実技指導「スポーツなわとびの指導」
吾平小学校の児童 365名に正課の授業での非常勤講師で、
22回（11クラス×各2回）のなわとび指導を行った。
- 2月 実技指導「体操、なわとびの指導（10）」
枕崎市・枕崎小学校 PTA・小学生 168名
- 2月 実技指導「スポーツなわとびの指導」
奄美大島笠利中学校・生徒 65名
- 7月 実技指導「スポーツなわとびの指導」
串木野市生冠中学校にて生徒 67名
- 9月 実演「体操競技の実演会」 肝属郡高隈町運動会
- 10月 実演「体操競技の実演会」 鹿屋市星塚敬愛園運動会
- 12月 実技指導「スポーツなわとびの指導」
吾平小学校・肝属教育委員会主催の小学校研究授業で教諭 60名
- 12月 実技指導「スポーツなわとびの指導（1）」
鹿児島市向陽小学校・短なわとび指導・児童 360名
- 2004年 1月 実技指導「スポーツなわとびの指導」
始良町山田中学校にて生徒 65名
- 1月 実技指導「スポーツなわとびの指導（2）」
鹿児島市向陽小学校で児童 360名
- 1月 実演「体操競技の実演会」 日本心身医学学会懇親会
- 2月 実技指導「体操、なわとびの指導（11）」
枕崎市・枕崎小学校 PTA・小学生 163名
- 6月 実技指導「スポーツなわとびの指導（2）」
鹿児島市向陽小学校で児童 360名
- 6月 実技指導「父と子の体育指導」
鹿屋市の第一鹿屋幼稚園にて園児と父 260名
- 2005年 1月 実技指導「スポーツなわとびの指導」
始良町山田中学校・生徒 63名
- 2月 実技指導「親子体操、長なわの指導（12）」
枕崎市・枕崎小学校 PTA・小学生とその親 210名
- 6月 実技指導「ハッスル体操教室」鹿屋市商工会主催・小学生 70名
- 10月 実演「体操競技の実演会」 鹿屋市第一鹿屋幼稚園運動会
- 2006年 2月 実技指導「親子体操、長なわの指導（13）」
枕崎市・枕崎小学校 PTA 主催で小学生とその親 150名

- 3月 実技指導「スポーツなわとびの指導（テレビ放映15分）」
NHK 鹿児島放送局のアナウンサーに指導
- 6月 実技指導「親子体操の指導」
錦江町役場保健福祉課・ハトポッポ体操・親子20名
- 2007年 2月 実技指導「長なわ・短なわの指導」
薩摩川内市教育委員会・長浜・青瀬小学校 60名
- 6月 実技指導「親子体操、長なわの指導」
有明町・原田小学校PTA小学生と親約150名
- 12月 実技指導「長なわ・短なわの指導（2）」
薩摩川内市教育委員会・長浜小学校児童61名
- 12月 実技指導「長なわ・短なわの指導」
薩摩川内市教育委員会・手打小学校児童36名
- 2008年 6月 「FM鹿屋ラジオ出演」
「スポーツフラッシュ」でオリンピック・体操競技の動向について解説
- 10月 「FM鹿屋ラジオ出演」
「スポーツフラッシュ」で全国社会人大会優勝に関係した話
- 2009年 2月 実技指導「長なわ・短なわの指導」
薩摩川内市教育委員会・平良小学校児童54名
- 2月 実技指導 「長なわ・短なわの指導」
薩摩川内市教育委員会・中津小学校の児童63名
- 3月 実技指導 「市民健康体操の指導」 鹿屋市老人介護師120名
- 3月 実技指導 「市民健康体操の指導」
鹿屋市ウォーキング大会・約60名
- 5月 実技指導「市民健康体操の指導」
鹿屋市健康作り推進員研修会102名
- 5月 実技指導「市民健康体操の指導」
ウォーキング・ストレッチアドバイザー養成講座にて63名
- 5月 実技指導「市民健康体操の指導」
鹿屋市町内会連絡協議会にて健康体操の指導を60名
- 5月 解説 公開講座「スポーツを見る会」 10名
- 7月 実技指導「市民健康体操の指導」
鹿屋市町内会連絡協議会・健康体操指導・55名
- 7月 実技指導「長なわ・短なわの指導者講習会」
有明町教育委員会・山重小学校教諭10名
- 7月 実技指導「教員免許状更新講習・器械運動の講習」
文部科学省小学校教諭12名
- 10月 実技指導 「市民健康体操の指導」
鹿屋市ウォーキング指導者15名

- 2010年 3月 講演「私の子育て術」
鹿屋市吾平町吾平小学校・小学生の親 120名
- 5月 講演「オリンピックへの道」
「競技力を向上する会」・鹿屋体育大学学生約 300名
- 6月 講演「幻のオリンピック」
東京都大田区立北糀谷小学校・児童 180名
- 10月 実演「体操競技の実演会」 鹿屋市の第一鹿屋中学校運動会
- 10月 実演「体操競技の実演会」 敬心保育園運動会
- 10月 実演「体操競技の実演会」 第一幼稚園運動会
- 11月 実技指導「器械運動の指導」
東京都大田区立北糀谷小学校・児童 180名
- 2011年 2月 実技指導「なわとびの指導」
東京都大田区立北糀谷小学校・児童 180名
- 7月 実技指導「なわとびの指導」
薩摩川内市西出水小学校・児童 110名
- 2013年 7月 実技指導「ラジオ体操の指導」 錦江町・町民 200名
- 8月 実技指導「ゴールデンエイジプロジェクトⅠ」全10回
鹿児島県体育協会・選抜小中学生 20名
- 8月 実技指導「ジュニア・サマーキャンプ」
NIFS スポーツクラブ・50名
- 2014年 2月 実技指導「なわとびの指導」
薩摩川内市立大馬越小学校・児童 60名
- 7月 実技指導「教員免許更新講習」 文部科学省・15名
- 10月 実演会「あん馬運動」 鹿屋国際ロータリークラブ
- 2015年 8月 実技指導「ゴールデンエイジプロジェクトⅡ」全10回
鹿児島県体育協会・選抜小中学生 25名
- 8月 実技指導「ジュニア・サマーキャンプ」
NIFS スポーツクラブ・45名
- 8月 実技指導「出水市ゴールデンエイジプロジェクト・体操指導」
出水市教育委員会・10名
- 11月 実技指導「出水市ゴールデンエイジプロジェクト・なわとび」
出水市教育委員会・10名
- 2016年 1月 実技指導「器械運動の指導」
ブータン国からの体育指導者・12名
- 7月 放映「キバレ部活」NHK放送・情報ウェブ鹿屋島
- 7月 実技指導「教員免許更新講習」 文部科学省・14名
- 8月 実技指導「ジュニア・サマーキャンプ」
NIFS スポーツクラブ・45名
- 11月 実技指導「ベビー教室」全5回 NIFS スポーツクラブ・10名

編 集 後 記

まず、今回北川淳一教授の退職記念誌の作成にあたり、提案をいただきました村田先生ありがとうございました。そして、編集にあたり誠に勝手ながら編集委員を立ち上げ参加していただいた、安楽さん、中村晃行さん、柴本さん、下田代さん夫妻、後藤さん、久保田さん、中谷先生、本当にありがとうございました。みなさんのご協力がなければ、この記念誌を完成させることはできなかったです。そして、何より、原稿を執筆いただいた、福岡大学の田口先生、北川先生、北川先生の奥様、前指導者の先生方、村田先生、八木実先生、八木久美子先生、そしてOB・OGのみなさん誠にありがとうございました。お陰様で立派な記念誌を作成することができました。

さて、この編集に当たっては、みなさんから多くの原稿、そして写真をいただき大変な作業であったことは事実です。しかし、編集していく中で皆様の文章を拝見させていただき感じたことがあります。

それは、みなさん共通して、北川先生の明るさ、前向きな姿勢、そして何より人柄の良さが書かれており、時代や選手が変わっても、北川先生のその姿勢や考えは変わらず、私たちに指導していただいたのだということです。どの世代の原稿を読んでも、北川先生の笑顔を想像することができました。

そして、幻のモスクワオリンピックの代表であることは知っていましたが、現役の時の新聞記事などを見て、改めて北川先生の選手としての偉大さを感じた次第であります。それでいて、北川先生はそれを自慢することなく、気さくに私たちに接していただき、改めて北川先生の人柄を再確認することができました。

コロナウィルスの影響で、退職行事等も中止になり色々と思われることはあったかと思いますが、「良かった探し」をすれば、こういった状況だからこそ、この立派な記念誌ができたのかもしれない。

36年もの長い間、誠にお疲れ様でした。この記念誌が、北川先生の退職に少しでも花を添えることができたのなら幸いです。何年も先に行く北川先生の体操と同じように、これからの時代を先取ったアイランドスポーツクラブキタガワでのご活躍を期待します。そしてこれからのますますのご発展とご健康をお祈りし、編集後記とさせていただきます。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

編集長 濱崎 峻介

北川淳一教授 退職記念誌

編 集：鹿屋体育大学体操競技部 OB 会 編集委員

編集長 20 期生濱崎峻介

委 員 5 期生安楽照夫・6 期生中村晃行・9 期生柴本香

15 期生下田代真人・16 期生下田代奈津子・17 期生後藤佳代子

20 期生久保田理恵・28 期生中谷太希

発 行：鹿屋体育大学体操競技部 OB 会

発行日：
